オーバードアS

取付説明書　－ 直昇電動タイプ －

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
　表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

保証書とユーザーカードを必ず施主様にお渡しください。

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

＜施工上のご注意＞

⚠注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
　・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
　・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
　　特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
　・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
　・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
　　免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
　・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
　・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●ボルト,ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

●取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

＜電気配線工事について＞

⚠ 注 意

●AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
●施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管（呼び径14）、電源ケーブル、アース棒が必要となりますので、用意してください。
●電動用電線ケーブルは必ず、過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
●電動支柱（主柱）には必ずアース（D種接地工事）をとってください。

＜基礎工事について＞

⚠ 注 意

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によっては（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分考慮してください。
●基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
●塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
●コンクリート（またはモルタル）には、急結剤を使用しないでください。使用すると腐食の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

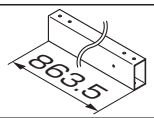
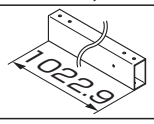
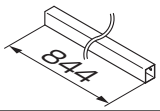
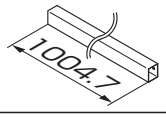
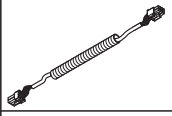
■梱包明細表

【1】柱セット

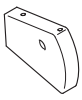
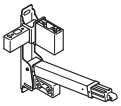
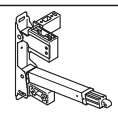
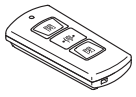
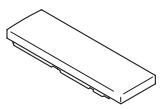
名　　称	略　　図	員　数					
		オーバードア		ワイドオーバードア（1モータ）		ワイドオーバードア（2モータ）	
		標準	ハイルーフ	標準	ハイルーフ	標準	ハイルーフ
電動支柱（主柱）・標準用		1	−	1	−	1	−
電動支柱（主柱）・ハイルーフ用		−	1	−	1	−	1
電動支柱（サブ柱）・標準用		−	−	−	−	1	−

D515_201101A

【1】柱セット（つづき）

名　　称	略　　図	員　数					
		オーバードア		ワイドオーバードア（1モータ）		ワイドオーバードア（2モータ）	
		標準	ハイルーフ	標準	ハイルーフ	標準	ハイルーフ
電動支柱（サブ柱）・ハイルーフ用		–	–	–	–	–	1
手動支柱（サブ柱）・標準用		1	–	1	–	–	–
手動支柱（サブ柱）・ハイルーフ用		–	1	–	1	–	–
上アーム・標準用		2	–	2	–	2	–
上アーム・ハイルーフ用		–	2	–	2	–	2
下アーム・標準用		2	–	2	–	2	–
下アーム・ハイルーフ用		–	2	–	2	–	2
渡り配線（呼び径14埋設管付き）		–	–	–	–	1	1
取扱説明書（ユーザーカード付き）	–	1	1	1	1	1	1

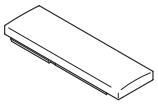
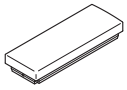
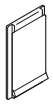
【2】部品セット

名　　称	略　　図	員　数		
		オーバードア	ワイドオーバードア（1モータ）	ワイドオーバードア（2モータ）
アーム取付金具カバー（右）		1	1	1
アーム取付金具カバー（左）		1	1	1
扉取付金具（右）		1	1	1
扉取付金具（左）		1	1	1
リモコン送信器（小箱入）		1	2	2
電動支柱キャップ （リモコン受信器組込み済み）		1	1	1

D515_201101A

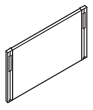
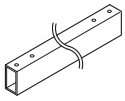
■梱包明細表（つづき）

【2】部品セット（つづき）

名　　称	略　　図	員　数		
		オーバードア	ワイドオーバードア（1モータ）	ワイドオーバードア（2モータ）
リモコン受信器用配線ケーブル		1	1	1
電動支柱キャップ		–	–	1
手動支柱キャップ		1	1	–
手動支柱スペーサー		1	1	–
アームカバー		2	2	2
連結棒固定バンド（※1）		–	1	1
補助スプリング取付金具		2	2	2
補助スプリングユニット取付ピン		2	2	2
【1-1】M5六角袋ナット		2	2	2
【1-2】M5平座金		2	2	2
【1-3】M6×16十字穴付き 六角ボルト（PW+SW）		32	32	32
【1-4】φ4×12トラス タッピンネジ3種（D=8）		7	7	6
【1-5】φ4×12ナベタッピンネジ2種		8	8	8
【1-6】φ4×10特サラタッピンネジ		4	4	4
取付説明書	–	1	1	1

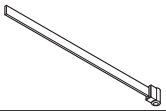
※1：黒色のみになります。ワイドオーバードア W39以上の場合に使用します。

【3】扉本体セット

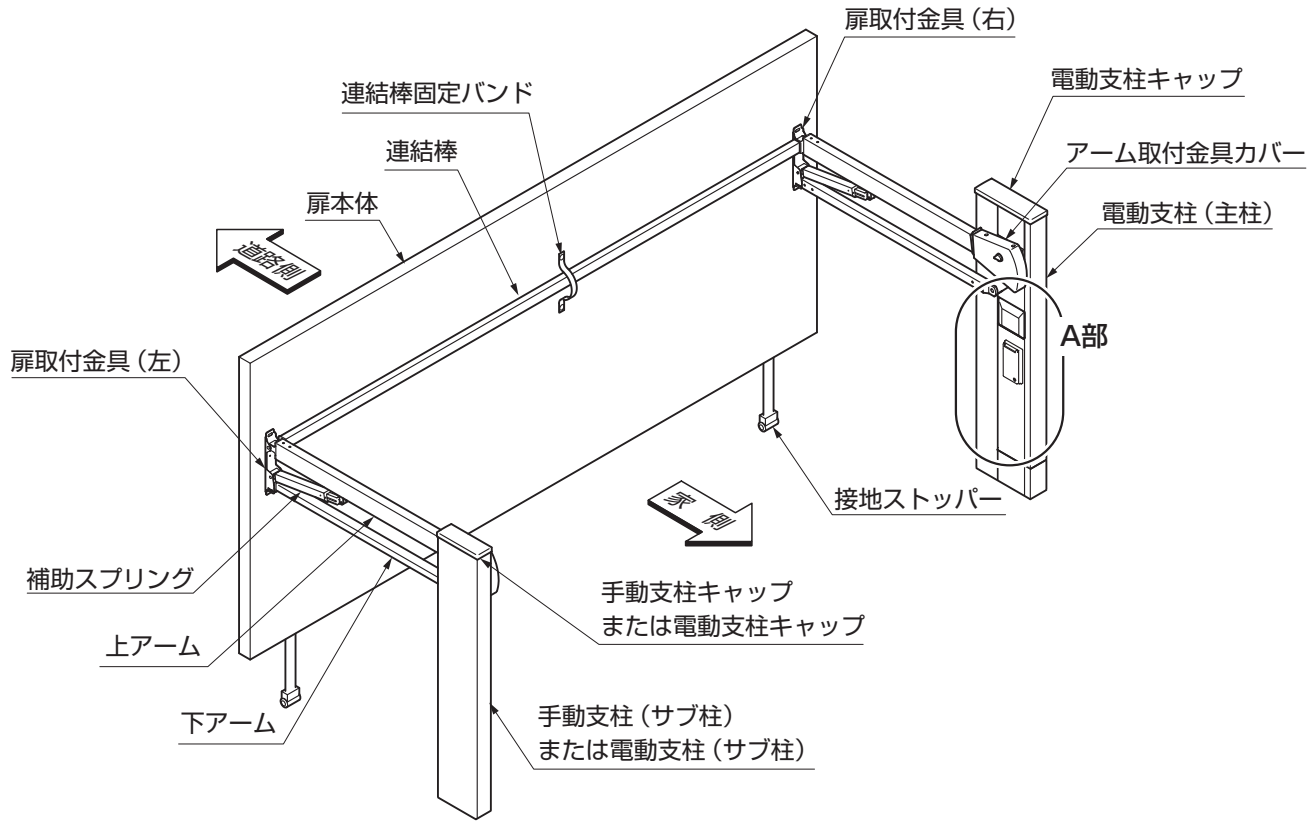
名　　称	略　　図	員数
扉本体（※2）		1
アーム連結棒		1

※2：扉本体には、扉取付金具裏板、扉取付ボルト（M8×15六角ボルト）、接地ストッパーは仮組付けしています。

【4】ロング接地ストッパーセット　オプション

名　　称	略　　図	員数
ロング接地ストッパー		1

1. 各部の名称



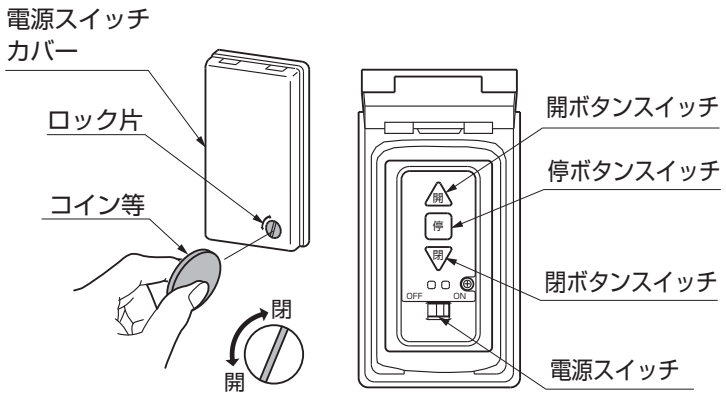


図1-2　施工・非常用押ボタンスイッチ

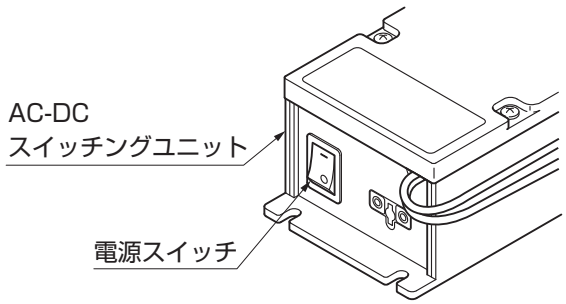


図1-3　電源スイッチ　詳細図

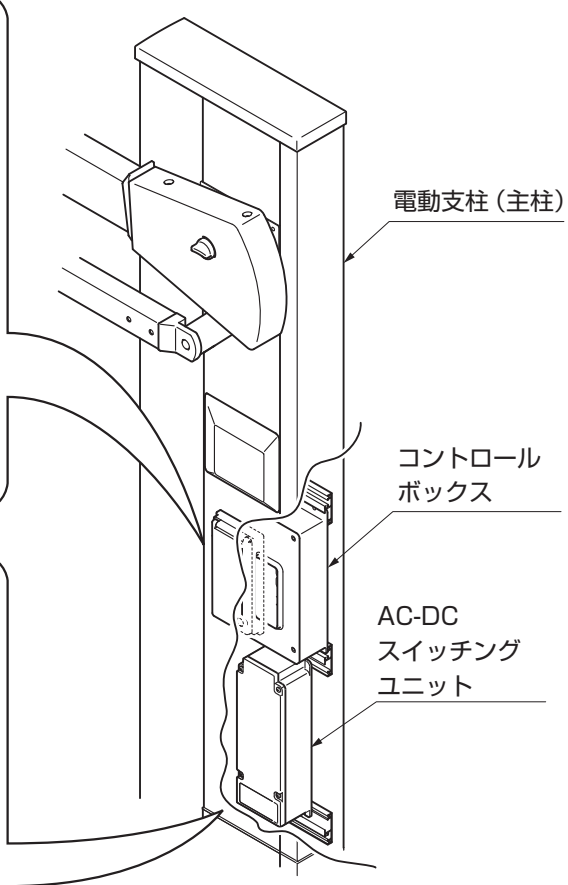


図1-1　A部詳細図

D515_201101A

2. 基本寸法

2-1 オーバードアS（W27・30型）

（1）共通寸法表

表2-1　基本寸法

サイズ	扉本体幅 W	柱外々寸法 W+22	有効開口幅 W−232
W27型	2650	2672	2418
W30型	2950	2972	2718

表2-2　必要寸法

サイズ		L	扉はみ出し寸法A		接地ストッパーはみ出し寸法B		必要高さC					
							H10型		H12型		H14型	
			標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値
W27型	標　準	1113	9	25	68	87	2041	2077	2124	2124	2207	2215
W30型	ハイルーフ	1263	68	104	121	141	2330	2366	2341	2366	2419	2426

注 意

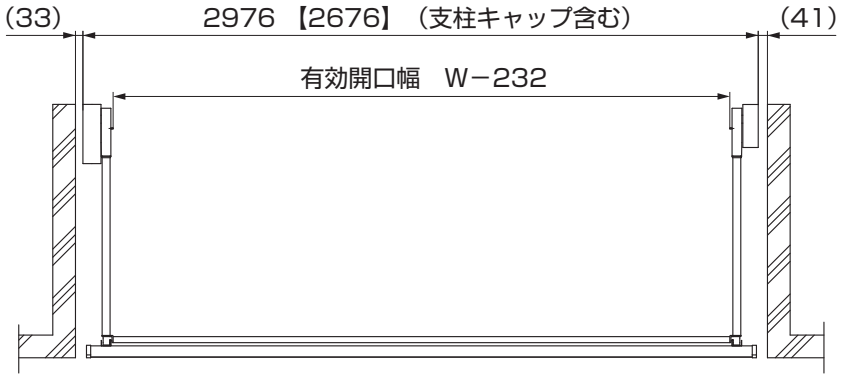
●扉のはみ出し寸法と必要高さ寸法は、扉の垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認してください。障害物にあたると扉の破損や故障の原因になります。

ポイント

●接地ストッパーは框（下桟）より90mm伸ばした状態です。接地ストッパーを調整し90mm以上に伸ばした場合、B寸法は大きくなります。最大250mmまで調整可能ですが、その場合、B寸法に＋145mm加算してください。

●柱と壁のすき間は、必ず電動支柱で33mm以上、手動支柱は41mm以上空けてください。すき間がないとメンテナンスができなくなります。

（2）平面図・正面図



【 】：W27型

図2-1　平面図

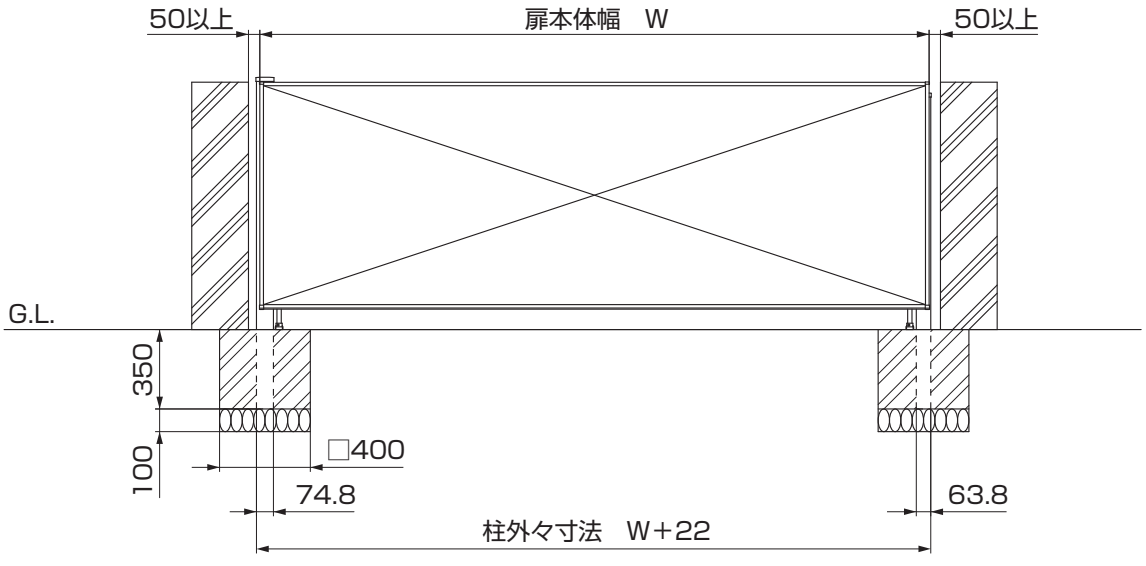


図2-2　正面図

(3) 側面図

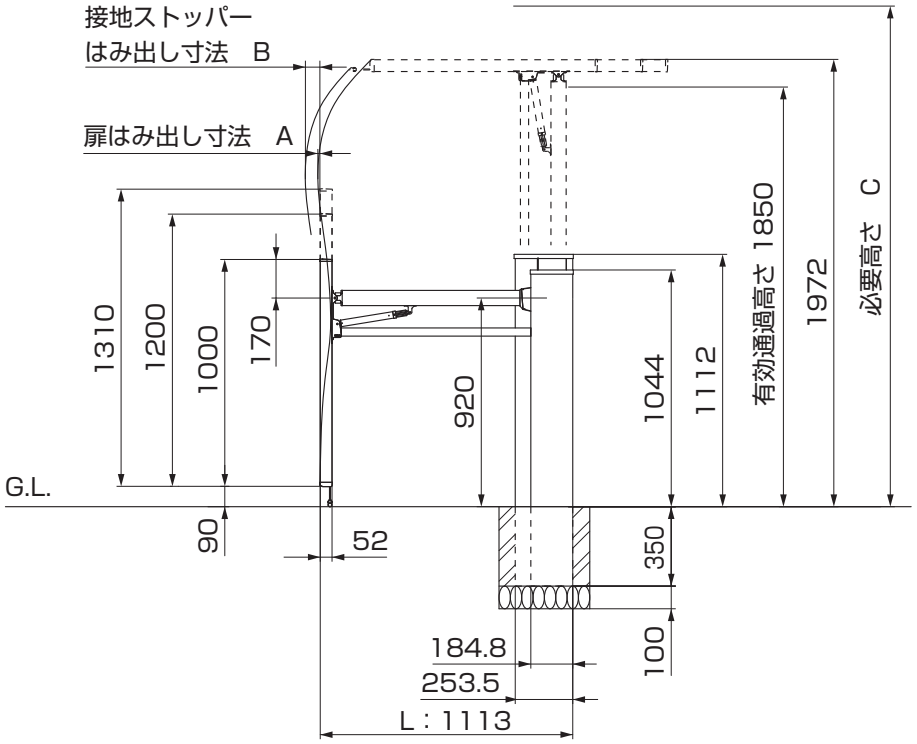


図2-3　側面図（標準の場合）

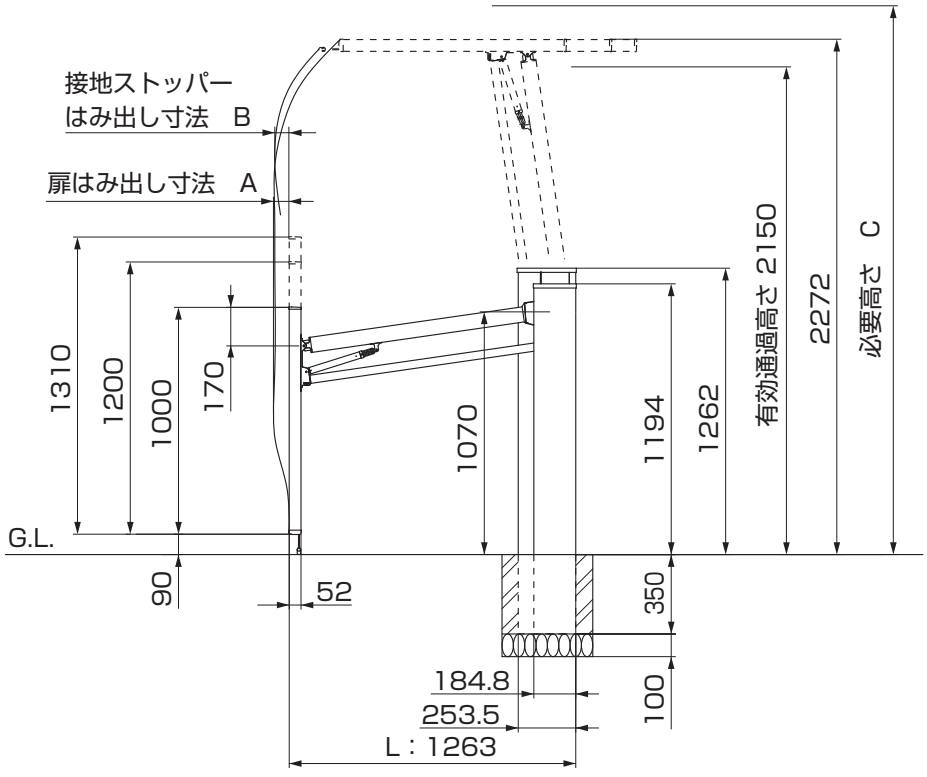


図2-4　側面図（ハイルーフの場合）

2.（つづき）

2-2 ワイドオーバードアS（W33～54型）1モータ

（1）共通寸法表

表2-3　基本寸法

サイズ	扉本体幅 W	柱外々寸法 W+22	有効開口幅 W−232
W33型	3250	3272	3018
W36型	3550	3572	3318
W39型	3850	3872	3618
W42型	4150	4172	3918
W45型	4450	4472	4218
W48型	4750	4772	4518
W51型	5050	5072	4818
W54型	5350	5372	5118

表2-4　必要寸法

サイズ		L	扉はみ出し寸法A		接地ストッパーはみ出し寸法B		必要高さC H10型		H12型	
			標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値
W33型	標　準	1113	9	25	68	87	2041	2077	2124	2124
W36型	ハイルーフ	1263	68	104	121	141	2330	2366	2341	2366
W39～	標　準	1124	5	36	57	76	2052	2088	2132	2132
54型	ハイルーフ	1274	66	101	109	130	2341	2377	2350	2377

注 意

●扉のはみ出し寸法と必要高さ寸法は、扉の垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認してください。障害物にあたると扉の破損や故障の原因になります。

ポイント

●接地ストッパーは框（下桟）より90mm伸ばした状態です。接地ストッパーを調整し90mm以上に伸ばした場合、B寸法は大きくなります。最大250mmまで調整可能ですが、その場合、B寸法に+145mm加算してください。

●柱と壁のすき間は、必ず電動支柱で33mm以上、手動支柱は41mm以上空けてください。すき間がないとメンテナンスができなくなります。

（2）平面図・正面図

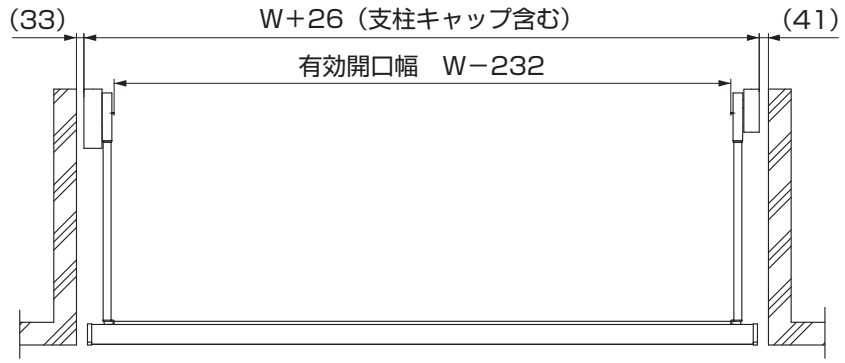


図2-5　平面図

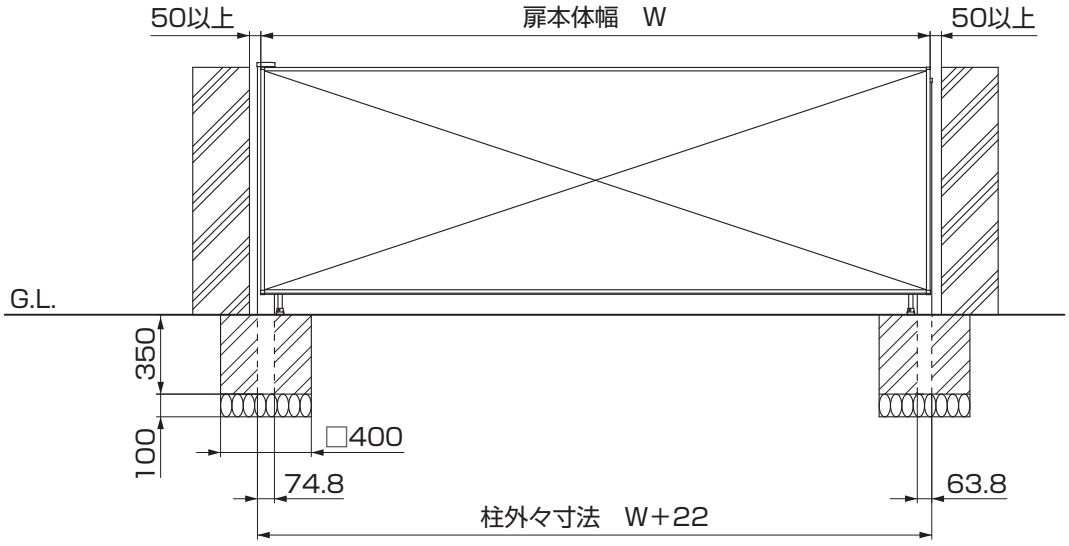


図2-6　正面図

(3) 側面図

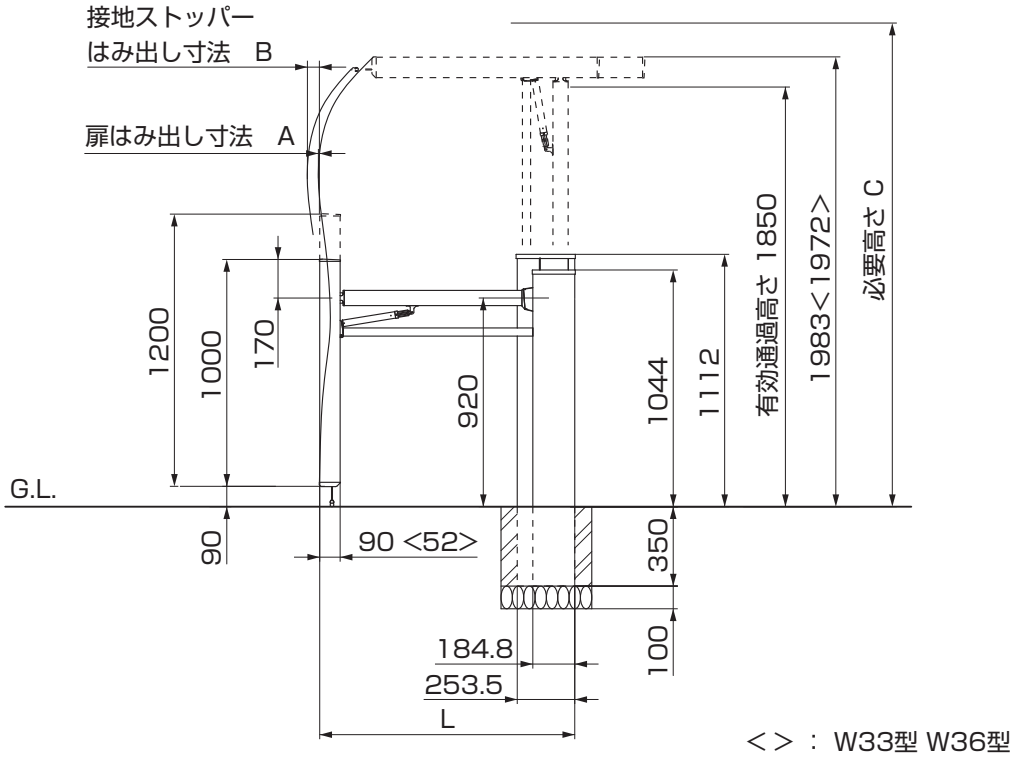


図2-7　側面図（標準の場合）

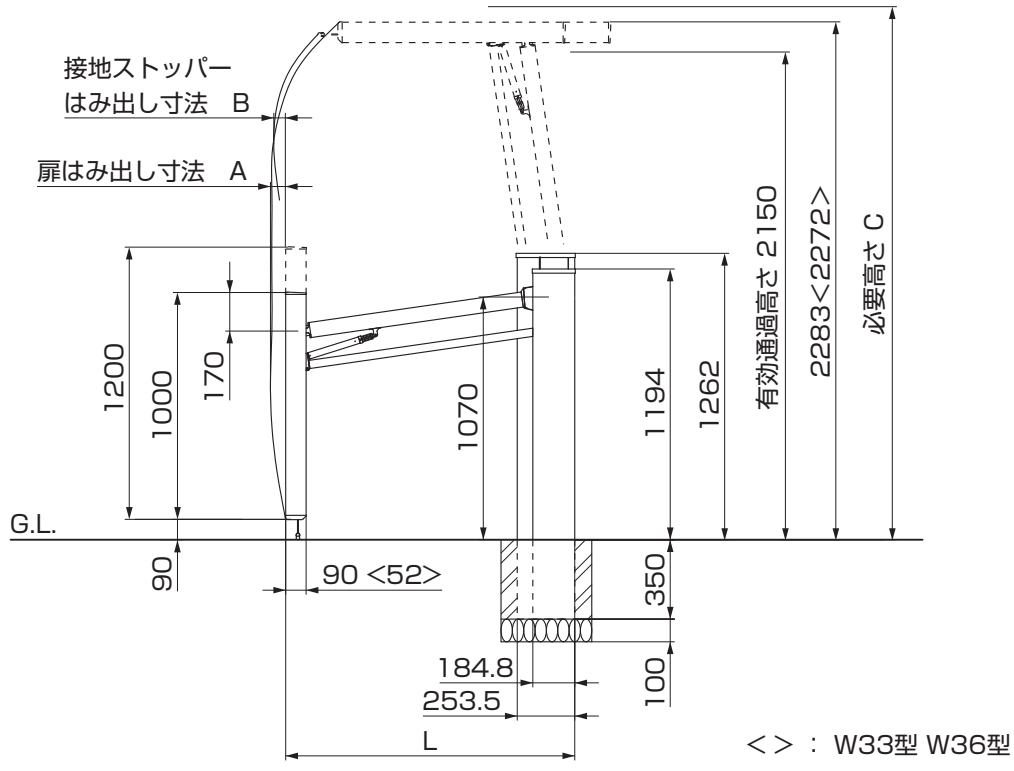


図2-8　側面図（ハイルーフの場合）

2.（つづき）

2-3 ワイドオーバードアS（W33～60型）2モータ

（1）共通寸法表

表2-5　基本寸法

サイズ	扉本体幅 W	柱外々寸法 W+30	有効開口幅 W−232
W33型	3250	3280	3018
W36型	3550	3580	3318
W39型	3850	3880	3618
W42型	4150	4180	3918
W45型	4450	4480	4218
W48型	4750	4780	4518
W51型	5050	5080	4818
W54型	5350	5380	5118
W57型	5650	5680	5418
W60型	5950	5980	5718

表2-6　必要寸法

サイズ		L	扉はみ出し寸法A		接地ストッパーはみ出し寸法B		必要高さC H10型		H12型	
			標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値	標準値	最大値
W33型	標　準	1113	9	25	68	87	2041	2077	2124	2124
W36型	ハイルーフ	1263	68	104	121	141	2330	2366	2341	2366
W39～60型	標　準	1124	5	36	57	76	2052	2088	2132	2132
	ハイルーフ	1274	66	101	109	130	2341	2377	2350	2377

注 意

●扉のはみ出し寸法と必要高さ寸法は、扉の垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認してください。障害物にあたると扉の破損や故障の原因になります。

ポイント

●接地ストッパーは框（下桟）より90mm伸ばした状態です。接地ストッパーを調整し90mm以上に伸ばした場合、B寸法は大きくなります。最大250mmまで調整可能ですが、その場合、B寸法に+145mm加算してください。

●柱と壁のすき間は、必ず33mm以上空けてください。すき間がないとメンテナンスができなくなります。

（2）平面図・正面図

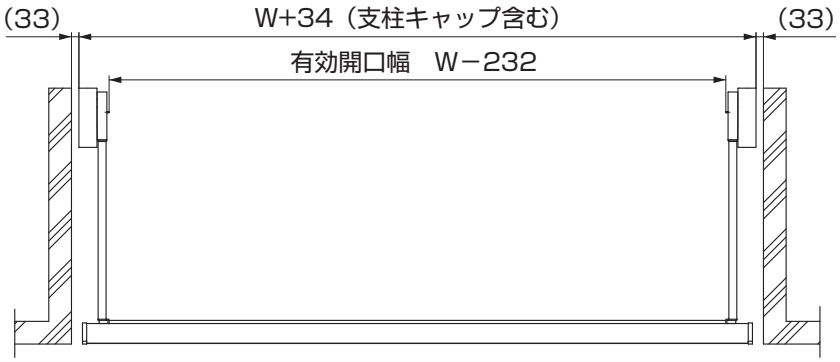


図2-9　平面図

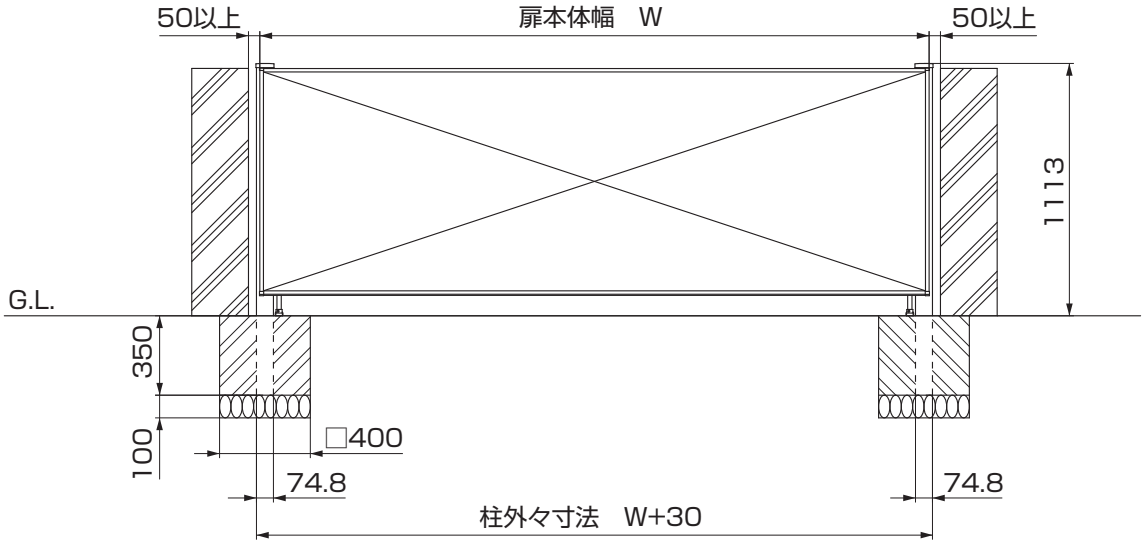


図2-10　正面図

(3) 側面図

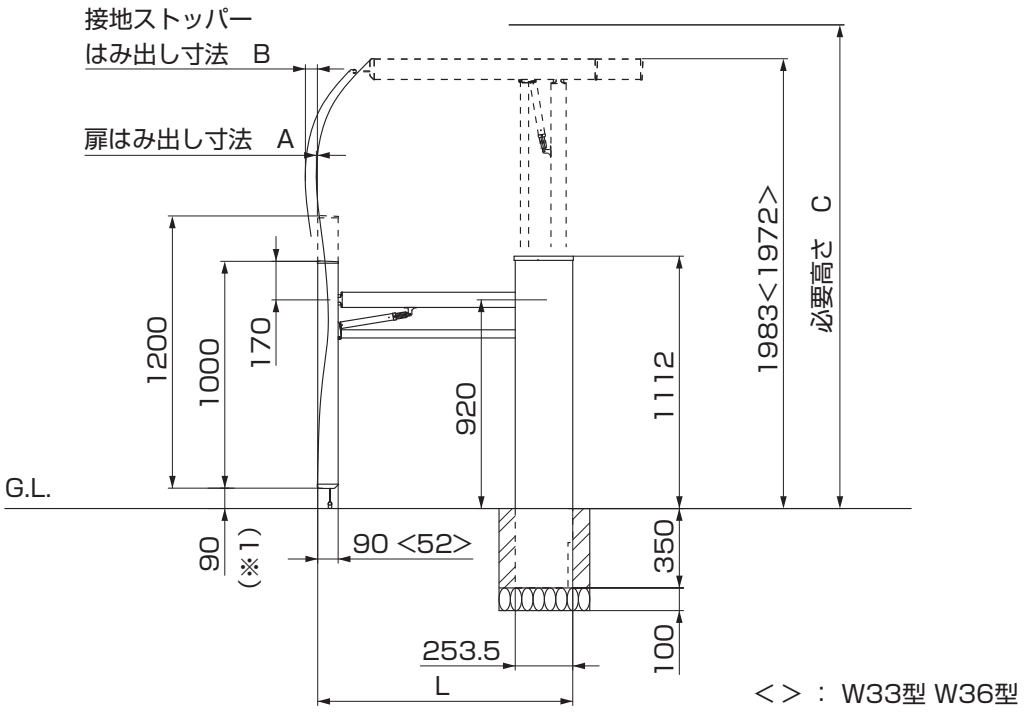


図2-11　側面図（標準の場合）

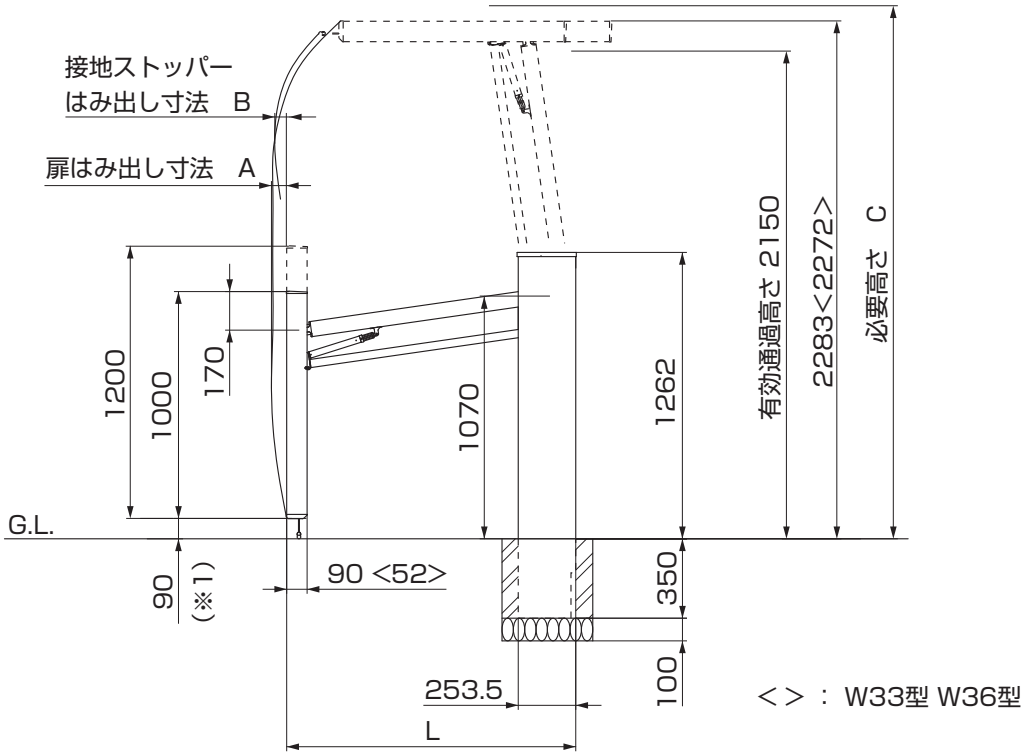


図2-12　側面図（ハイルーフの場合）

2.（つづき）

2-4 カーポートとの組み合わせ（カーポートの桁下に設置する場合）

（1）標準の場合 ※カーポートはロング柱（+500mm）が必要です。
※A寸法・B寸法以上で施工してください。

ポイント

●オーバードアSの標準タイプを桁下に納める場合、カーポートはロング柱（+500㎜）を使用する必要があります。
- アーキフィットは標準柱での施工が可能です。
- キューブポートは標準柱でH10・H12の施工が可能です。
- ウィンスリーポートⅡは標準柱でH10の施工が可能です。
- ウィンスリーポート〔オーバードアがH12の場合、4本柱タイプのみロング柱H25を使用〕は標準柱で施工が可能です。

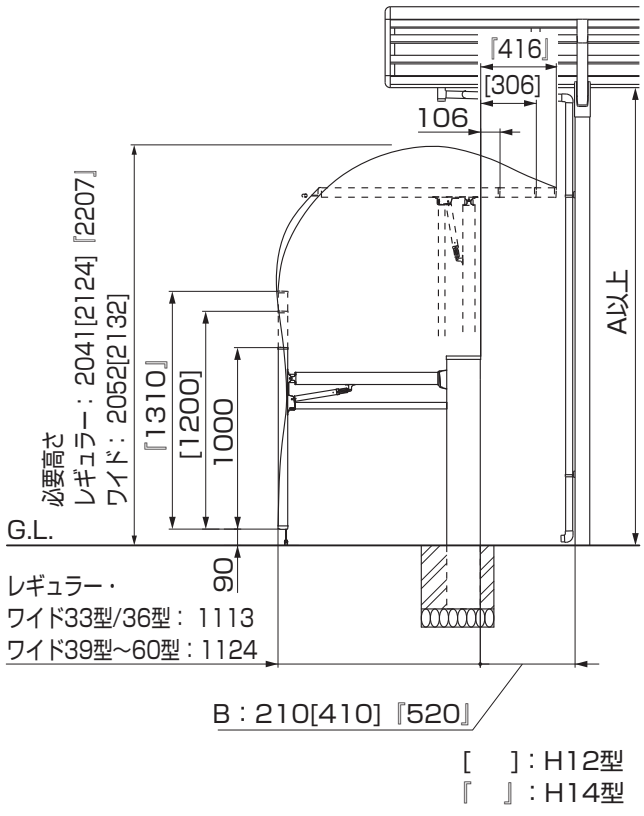


図2-13 側面図（標準の場合）

表2-7

オーバードアを桁下に施工できるカーポート		G.L.~雨樋桁下		A		
		標準柱使用	ロング柱使用	H10型	H12型	H14型
アーキフィット・アーキフィットプラス		2362	2612	2270	2270	2270
アーキデュオ ワイド		2370	2590	2230	2320	2390
アーキデュオ プレミアム ワイド（※1）		2321（※2）	2541（※2）	2180	2270	2340
キューブポート・キューブポートプラス		2219	2519	2118	2208	2295
キューブポートワイド・キューブポートプラス ワイド		2224	2492	2133	2223	2310
メジャーポートⅡRタイプ レギュラー		1906	2406	2230	2320	2390
メジャーポートⅡRタイプ ワイド		1890	2390			
メジャーポートⅡFタイプ レギュラー		1908	2408			
メジャーポート ストロング		1924	2424			
セーブポートR・セーブポートR ワイド		1907	2407			
ライブポートⅡ		1912	2412	2188	2278	2365
フリーポートⅢ600タイプ レギュラー		1408	1908	1684	1774	1861
フリーポートⅢ600タイプ ワイド		1393	1893			
フリーポートⅢ1500タイプ レギュラー		1408	1908			
フリーポートⅢ1500タイプ ワイド						
Nポート		1892	2392	2210	2300	2387
メジャーポートⅡSX 600タイプ		1890	2390	2230	2320	2390
メジャーポートⅡSX 1500タイプ						
ルネスポートⅡ600タイプ		1919	2419	2182	2272	2359
ルネスポートⅡ1500タイプ						
パークポート		1813	2313	2190	2280	2313
システムポート		2300	2600	2290	2380	2380
ウィンスリーポート	4本柱	2283	2483	2036	2064	2151
	6・8本柱	2315	2515	2194	2222	2309
ウィンスリーポートⅡ	4本柱	2305	2505	2296	2386	2473
	6・8本柱	2318	2518	2275	2365	2452

※1：アーキデュオ　プレミアム　ワイドの場合、4°を超える傾斜で屋根を施工する場合は、ロング柱以上が必要になる場合があります。（各仕様の雨樋桁下高さ参考）

※2：前枠下カバー下の寸法になります。

ポイント

●扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。
●B寸法（カーポート～オーバードア柱寸法）は全開時に扉が柱からはみ出す寸法＋100mm以上必要です。
●フリーポートⅡレギュラー・ワイドはオーバードア本体が、カーポートの柱外側から100mm内側に入った位置で設定しています。またA寸法は雨樋の桁下寸法を記入していますが、オーバードアは雨樋桁下に納まるのではなく、桁下をさけた屋根下に納まります。

（2）ハイルーフの場合　※カーポートはロング柱（＋1000mm）が必要です。
※A寸法・B寸法以上で施工してください。

ポイント

●オーバードアSのハイルーフタイプを桁下に納める場合、カーポートはイージーオーダー特注のロング柱（＋1000mm）を使用する必要があります。
・キューブポートはロング柱（＋300mm）で施工が可能です。
・キューブポートワイドはロング柱（＋268mm）で施工が可能です。
・ウィンスリーポート・ウィンスリーポートⅡはロング柱30（＋700mm）で施工が可能です。
・アーキデュオ　プレミアム　ワイドはロング柱（+250mm）で施工が可能です。
・メジャーポートⅡ R・Fタイプ用のH：28柱（＋1000mm）は規格品です。

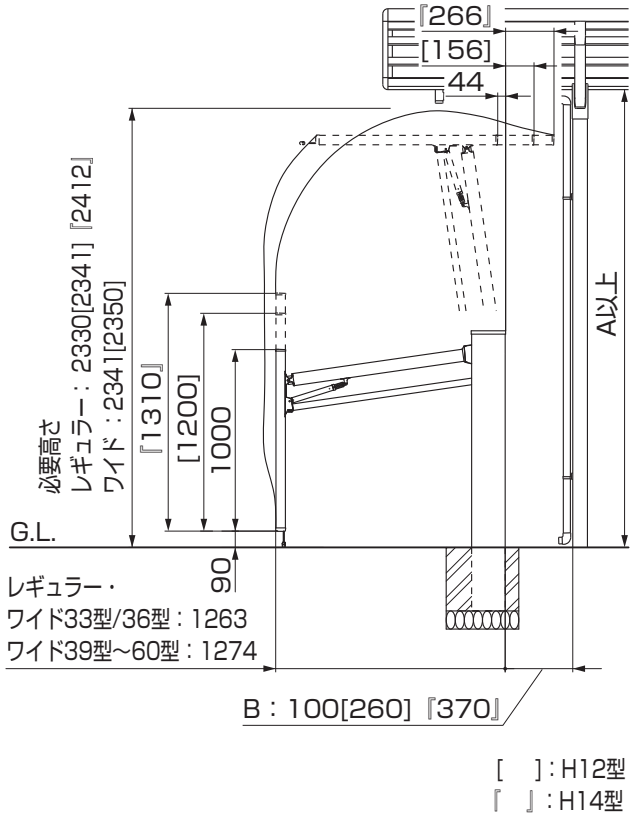


図2-14　側面図（ハイルーフの場合）

表2-8

オーバードアを桁下に施工できるカーポート		必要柱寸法（標準柱＋α）			A		
		H10型	H12型	H14型	H10型	H12型	H14型
アーキフィット・アーキフィットプラス		2612（ロング柱）			2520	2520	2520
アーキデュオ ワイド		2590（ロング柱）			2530	2550	2550
アーキデュオ プレミアム ワイド		2541（ロング柱）			2480	2500	2500
キューブポート・キューブポートプラス		2519（ロング柱）			2418	2448	2510
キューブポートワイド・キューブポートプラス ワイド		2492（ロング柱）			2401	2421	2483
メジャーポートⅡRタイプ レギュラー		+640以上	+670以上	+740以上	2530	2560	2622
メジャーポートⅡRタイプ ワイド							
メジャーポートⅡFタイプ レギュラー							
セーブポートR・セーブポートR ワイド		+630以上	+660以上	+730以上	2530	2560	2622
ライブポートⅡ		+580以上	+600以上	+670以上	2488	2508	2570
フリーポートⅢ600タイプ レギュラー		+580以上	+610以上	+680以上	1984	2014	2076
フリーポートⅢ600タイプ ワイド		+600以上	+630以上	+700以上			
フリーポートⅢ1500タイプ レギュラー		+580以上	+610以上	+680以上			
フリーポートⅢ1500タイプ ワイド		+580以上	+610以上	+680以上			
バークポート		+677以上	+707以上	+777以上	2490	2520	2582
システムポート		2600（ロング柱）			2590	2600	2662
メジャーポートⅡSX 600タイプ		+640以上	+670以上	+740以上	2530	2560	2622
メジャーポートⅡSX 1500タイプ							
ルネスポートⅡ600タイプ		+570以上	+590以上	+660以上	2482	2502	2564
ルネスポートⅡ1500タイプ							
ウィンスリーポート	4本柱	2983			2725	2743	2805
	6・8本柱	3015			2883	2901	2963
ウィンスリーポートⅡ	4本柱	3190（ロング柱）			2616	2646	2708
	6・8本柱	3190（ロング柱）			2575	2605	2667

ポイント

●扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。
●B寸法（カーポート～オーバードア柱寸法）は全開時に扉が柱からはみ出す寸法＋100mm以上必要です。
●フリーポートⅡレギュラー・ワイドはオーバードア本体が、カーポートの柱外側から100mm内側に入った位置で設定しています。またA寸法は雨樋の桁下寸法を記入していますが、オーバードアは雨樋桁下に納まるのではなく、桁下をさけた屋根下に納まります。

2.（つづき）

2-5 カーポートとの組み合わせ（カーポートの外に設置する場合）

ポイント

●カーポート桁からオーバードア全開時の扉とのすきまは、100mm以上のクリアランスが必要です。
●扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。

（1）標準の場合

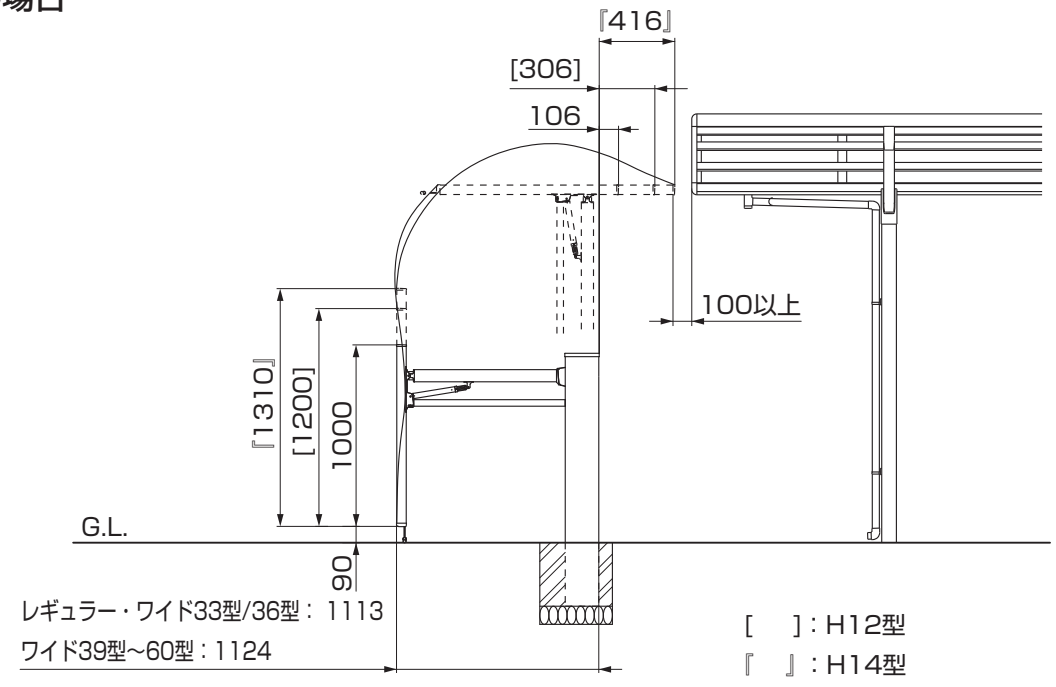


図2-15　側面図（標準の場合）

（2）ハイルーフの場合

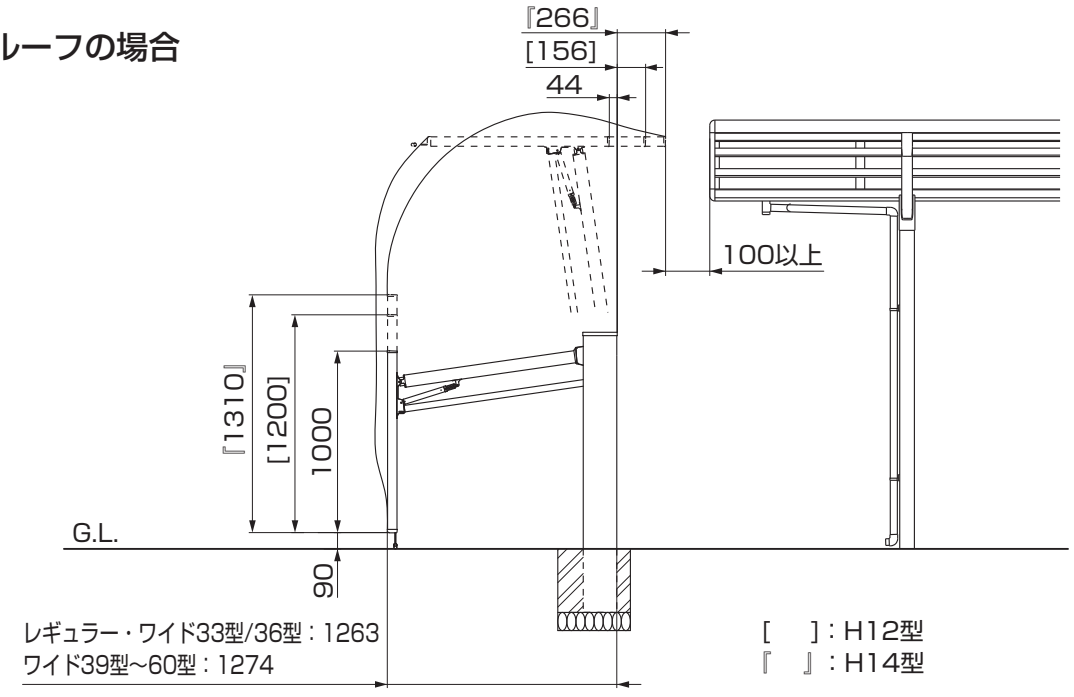


図2-16　側面図（ハイルーフの場合）

3. 基礎施工

3-1 基礎施工の前に

（1）手動支柱スペーサーと支柱キャップの取付け

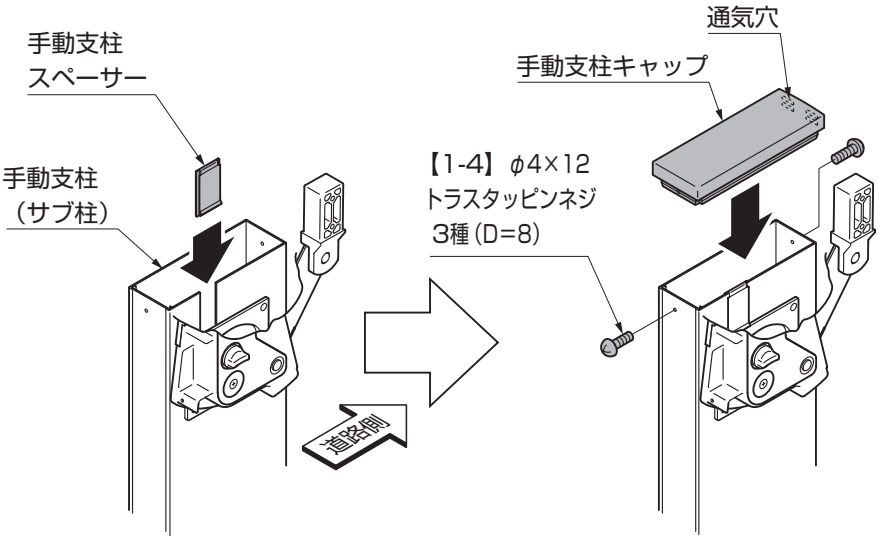


図3-1　手動支柱（サブ柱）の場合

①手動支柱スペーサーを手動支柱（サブ柱）に差込んでください。
②手動支柱キャップを手動支柱（サブ柱）に【1-4】で取付けてください。

補足

●手動支柱キャップを取付けることで、施工中の支柱内への水やホコリの進入を防ぎます。
●手動支柱キャップには向きがあります。通気穴がある面を道路側にむけてください。

（2）電動支柱キャップの仮止め

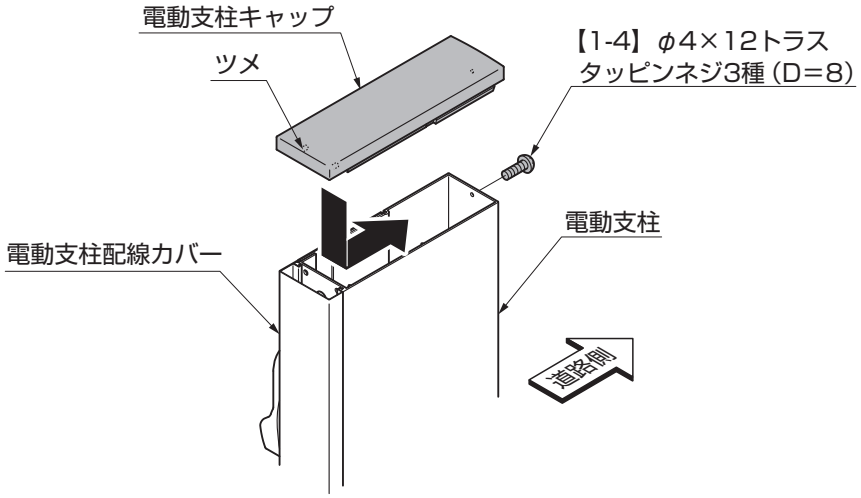


図3-2　電動支柱の場合

①電動支柱キャップをスライドさせて電動支柱（主柱）にツメを引掛け、【1-4】で仮止めしてください。

補足

●電動支柱キャップを仮止めすることで、施工中の支柱内への水やホコリの進入を防ぎます。

3-2 施工寸法

（1）施工時の注意

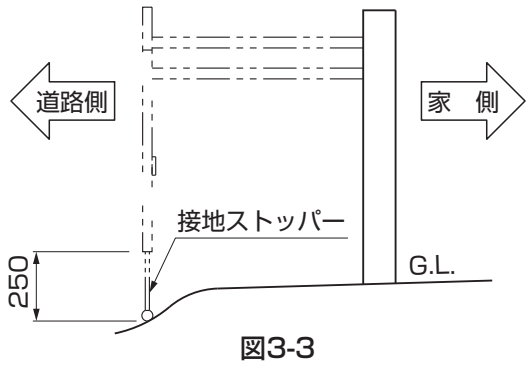


図3-3

ポイント

●水切勾配がある所に施工するときは、支柱埋込位置と扉取付位置との均配差をできるだけ少なくしてください。接地ストッパーは最大250mmまで調整できます。
（図3-3参照）
それ以上すき間があるときは、
ロング接地ストッパーセット
オプション を使用してください。
＋100mmまで対応可能です。

3.（つづき）

3-2 つづき

（1）つづき

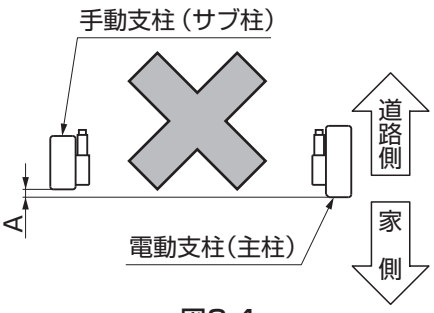


図3-4

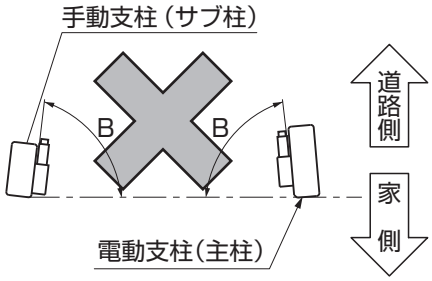


図3-5

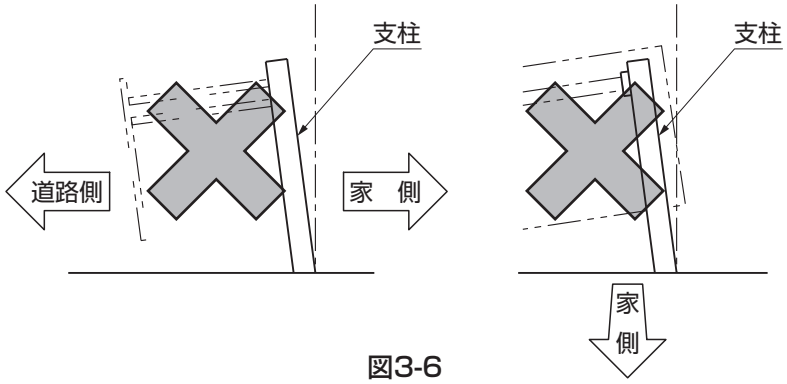


図3-6

ポイント

●左右の支柱が前後にずれないように施工してください。また、A寸法は0mmを守ってください。（図3-4参照）

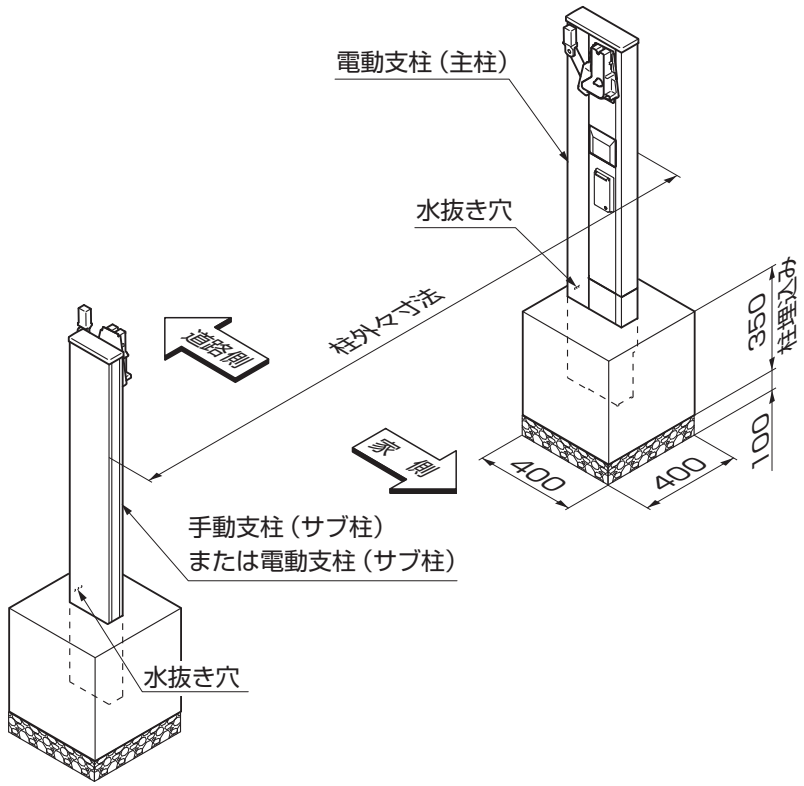
ポイント

●左右の支柱を平行に、施工してください。また、Bの角度は90°を守ってください。（図3-5参照）

ポイント

●左右の支柱を水準器で確認し、垂直に施工してください。（図3-6参照）

（2）基礎寸法



注 意

●基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ず守ってください。

●支柱の埋込み位置・高さ・垂直度・水平度を十分に調整してください。調整が不十分の場合、駆動部品に負荷がかかり、扉の作動に支障が生じ、耐久性・安全性に影響します。

（3）埋設管立ち上げ位置

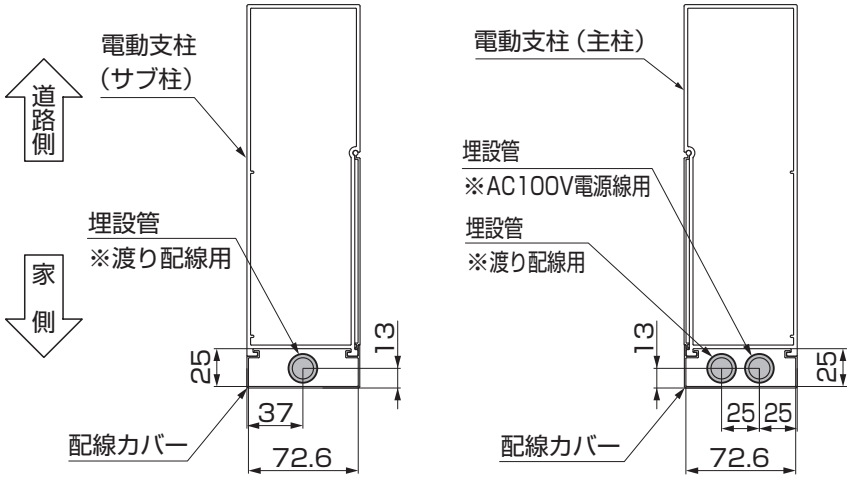


図3-7　埋設管立ち上げ位置

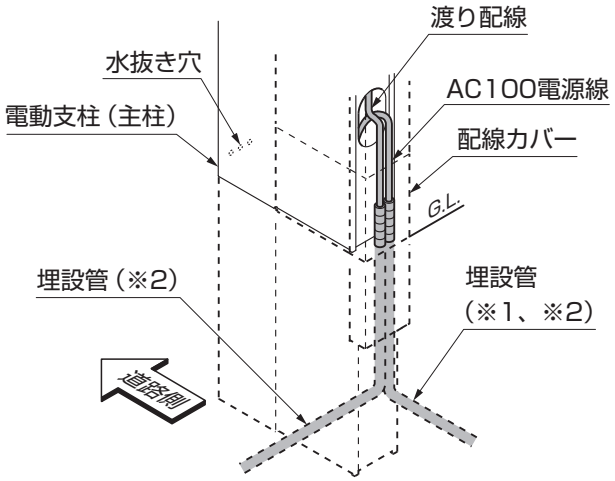
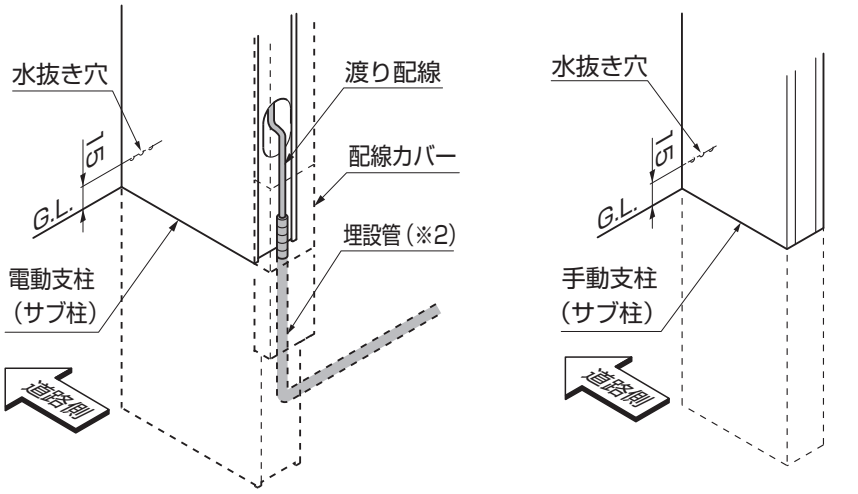


図3-8　主柱側



電動支柱の場合

手動支柱の場合
（埋設管はありません。）

図3-9　サブ柱側

注意

●水抜き穴は確実にG.L.面より上に出してください。水抜き穴をふさぐと柱の中に水がたまり、湿気による腐蝕などで強度低下や故障の原因になります。

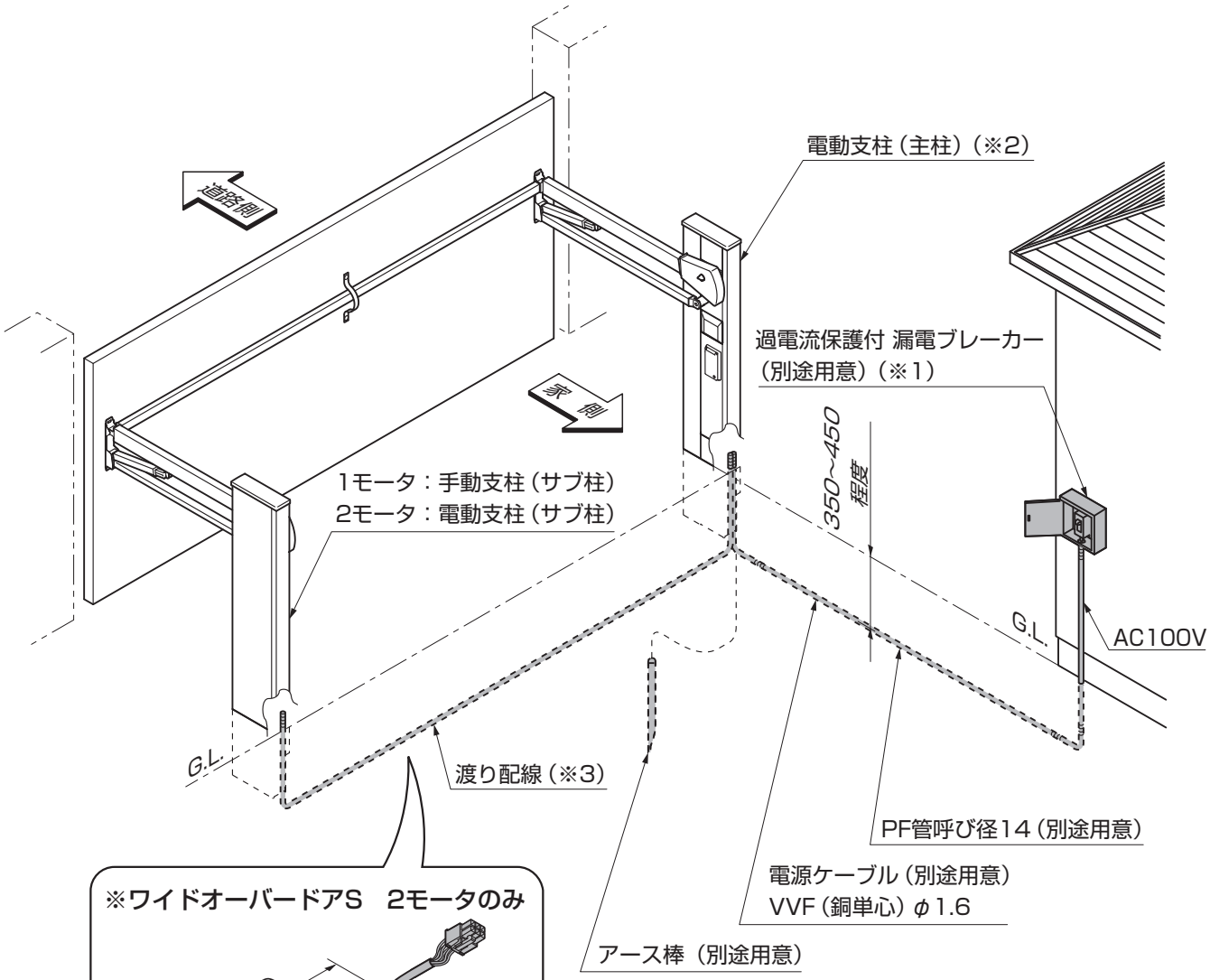
ポイント

●電動支柱（主柱）側に電源用の配管（呼び径14PF管）が必要になります。（※1）また、電源線はG.L.から350mm以上必要です。
●埋設管はG.L.から60mm以上立ち上げてください。（※2）

4. 配線工事

⚠ 注 意

●AC100V線の施工に関しては、電気工事の有資格者に依頼してください。



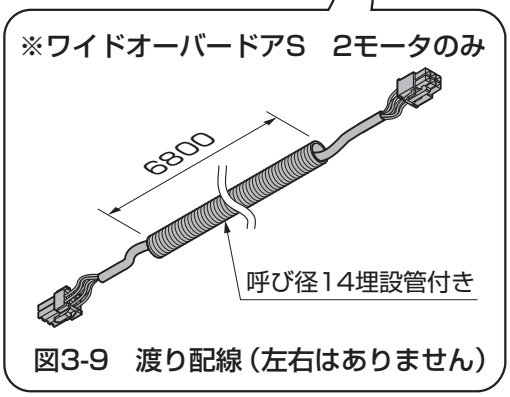


図3-9　渡り配線（左右はありません）

ポイント

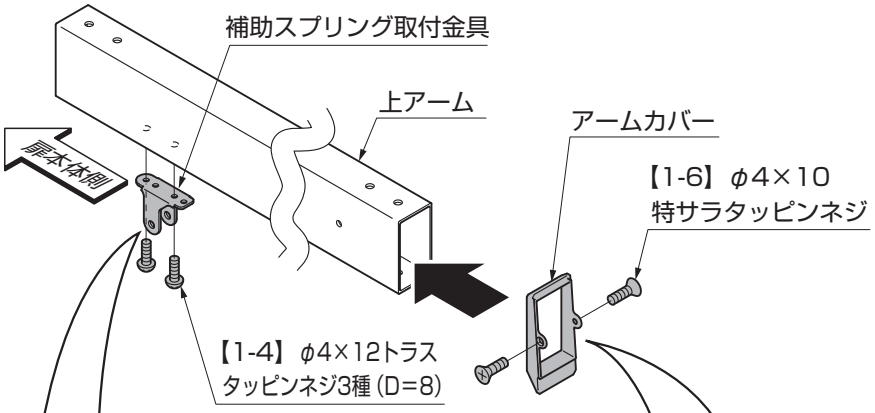
●施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管（呼び径14）、電線ケーブル、アース棒が必要になりますのでご用意ください。
● 電源用電線ケーブルは必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。（※1）
● 電動支柱（主柱）には、D種接地工事を行ってください。（※2）
● 渡り配線はワイドオーバードアS 2モータのみ必要になります。（※3）

D515_201101A

5. アームの取付け

5-1 アームの組立て

（1）アームカバーと補助スプリング取付金具の組立て



①補助スプリング取付金具を上アームに【1-4】で取付けてください。

注 意

●補助スプリング取付金具は扉H10と扉H12・14で取付け位置が異なります。取付け位置を間違えると、バランスがくずれ途中停止の原因になり、開閉作動に支障が生じ、耐久性、安全性に影響します。
（図5-1参照）

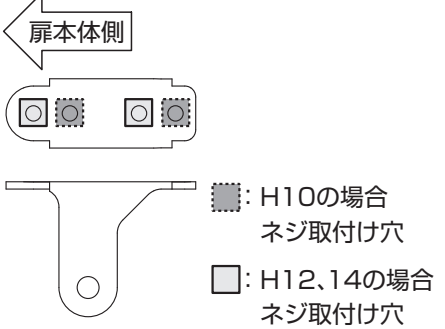


図5-1
補助スプリング取付金具詳細

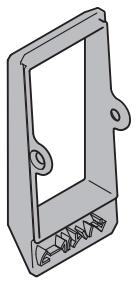


図5-2
標準の場合

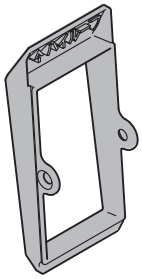


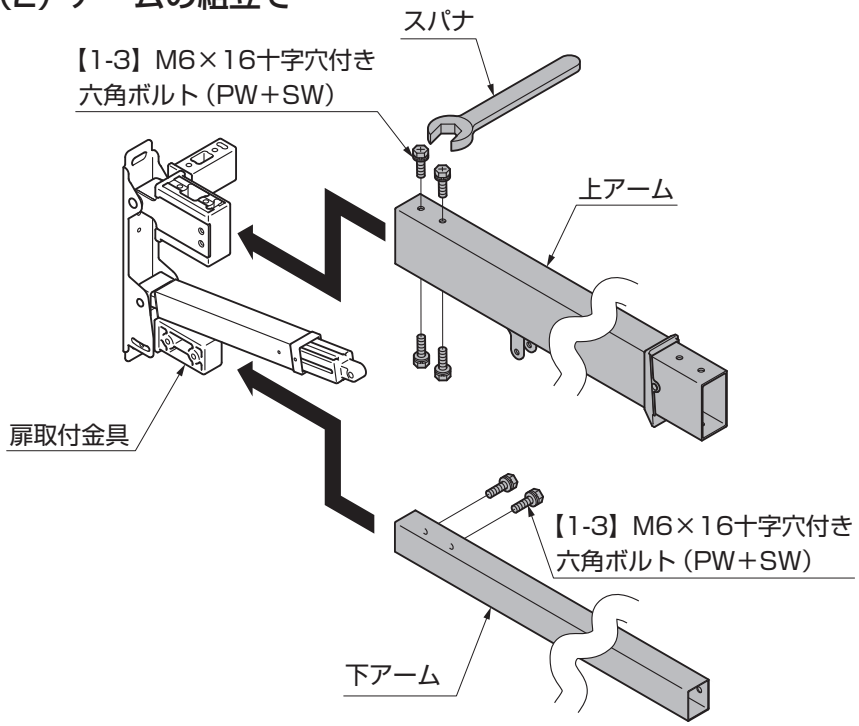
図5-3
ハイルーフの場合

②アームカバーを上アームに【1-6】で取付けてください。

ポイント

●アームカバーは、標準タイプとハイルーフタイプで上下が異なります。上下を間違えるとアーム取付金具カバーが取付けできなくなります。
（図5-2、5-3参照）

（2）アームの組立て



①上・下アームを扉取付金具に【1-3】で取付けてください。

ポイント

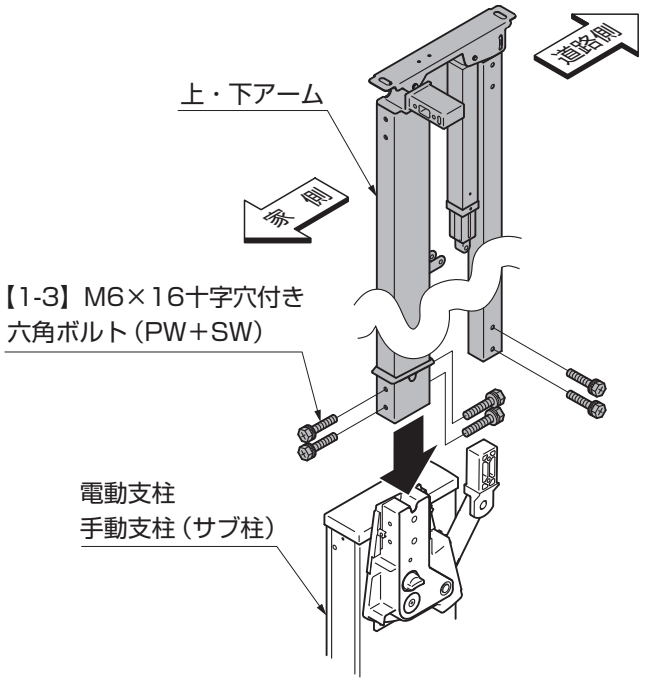
●下アームには向きがありますので、確認をしてから取付けてください。

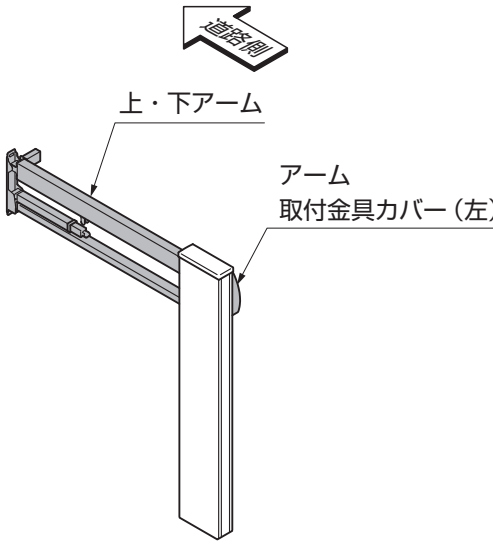
注 意

●アームを取付ける【1-3】はスパナを用い、確実に締め込んでください。確実に締め込まないと、使用中にゆるみ、扉のねじれ、作動音や途中停止の原因になり、耐久性、安全性に影響します。

5.（つづき）

5-2 電動支柱・手動支柱（サブ柱）のアームの取付け





①上・下アームを電動支柱・手動支柱（サブ柱）に【1-3】で取付けてください。

ポイント

●上・下アームには向きがありますので、確認してから取付けてください。

5-3 電動支柱・手動支柱（サブ柱）のアームの位置決め

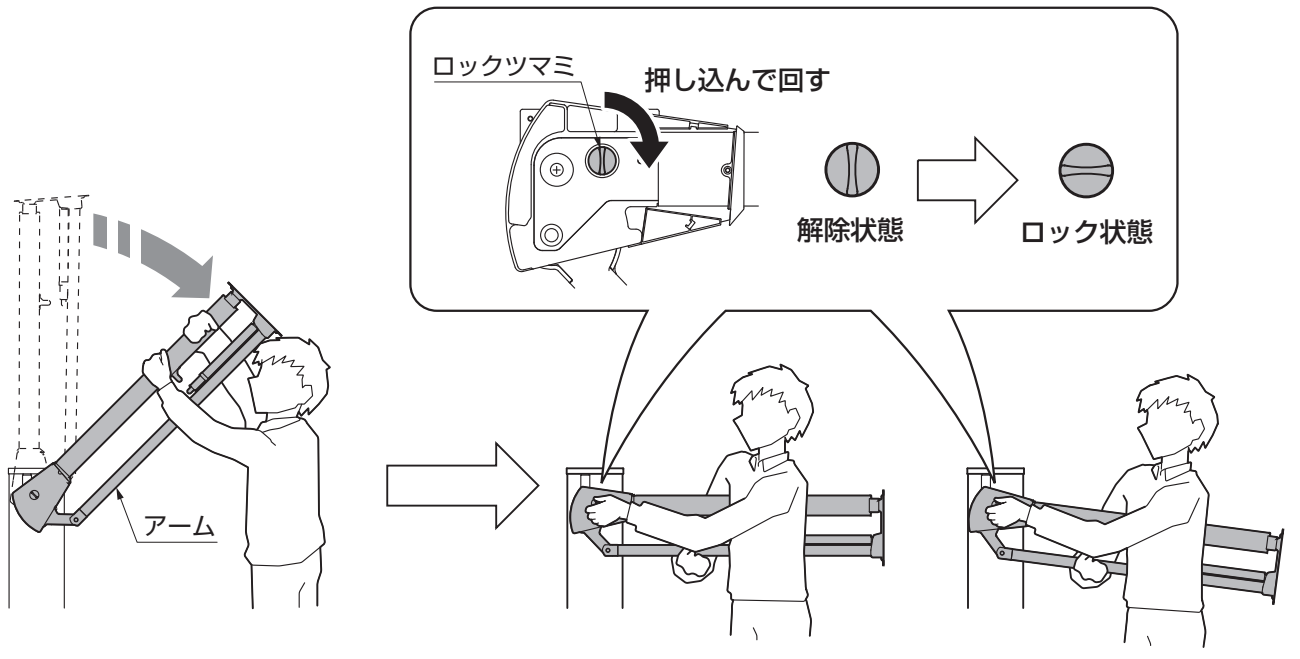
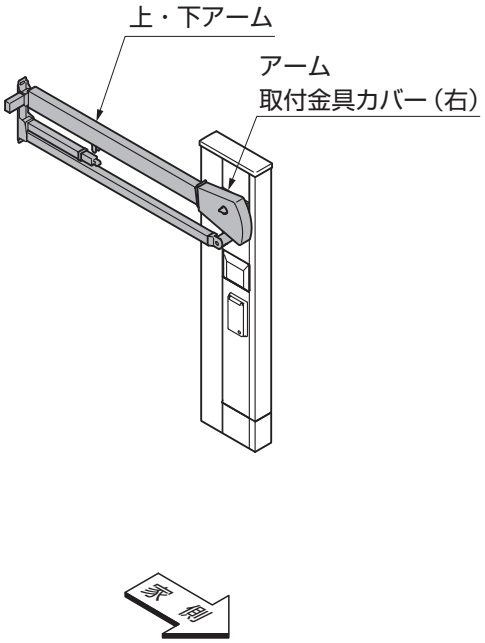
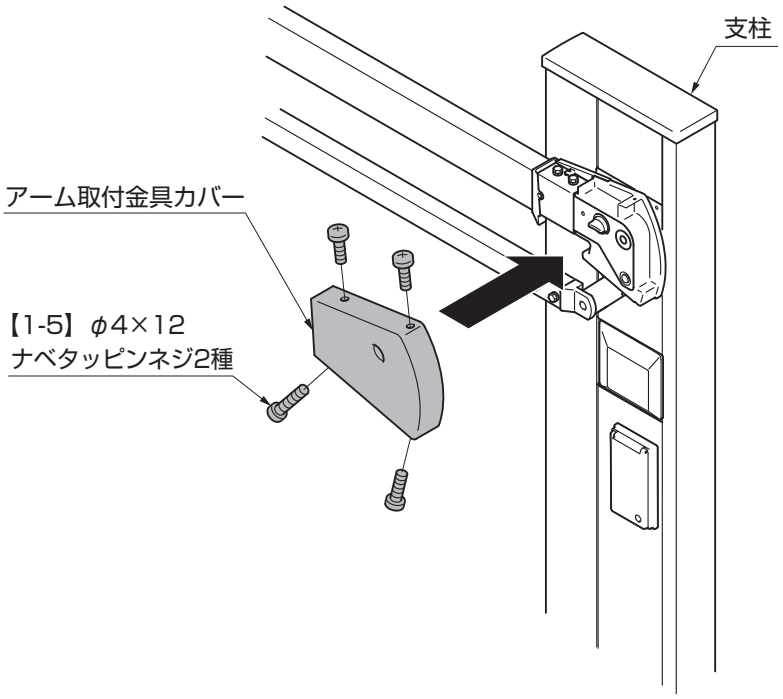


図5-4　標準の場合　　図5-5　ハイルーフの場合



5-4 アーム取付金具カバーの取付け



①アーム取付金具カバーを支柱に【1-5】で取付けてください。

①アームの先端をもち、体重をかけながら回転してロックツマミをロック状態にしてください。

⚠ 警 告

●アームを下げるのに、20kg以上の力が必要です。ロック状態にするまで力を抜かないように注意してください。アームが跳ね上がり、ケガをしたり重大な事故につながるおそれがあります。

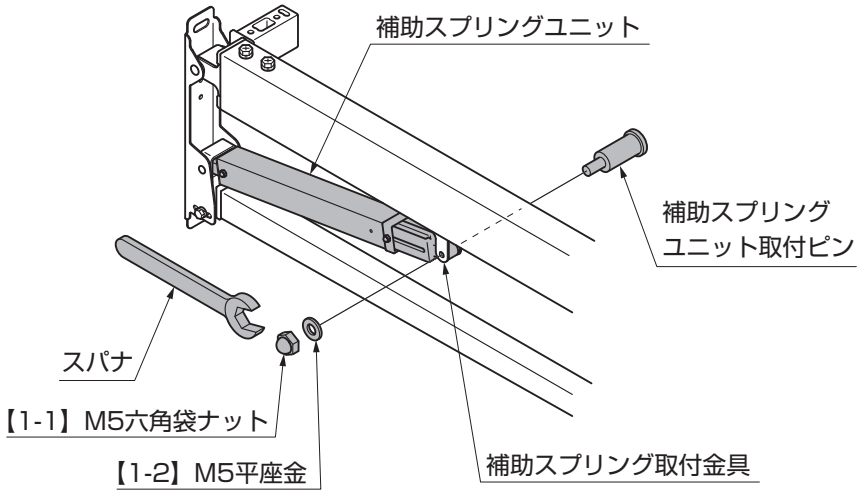
補 足

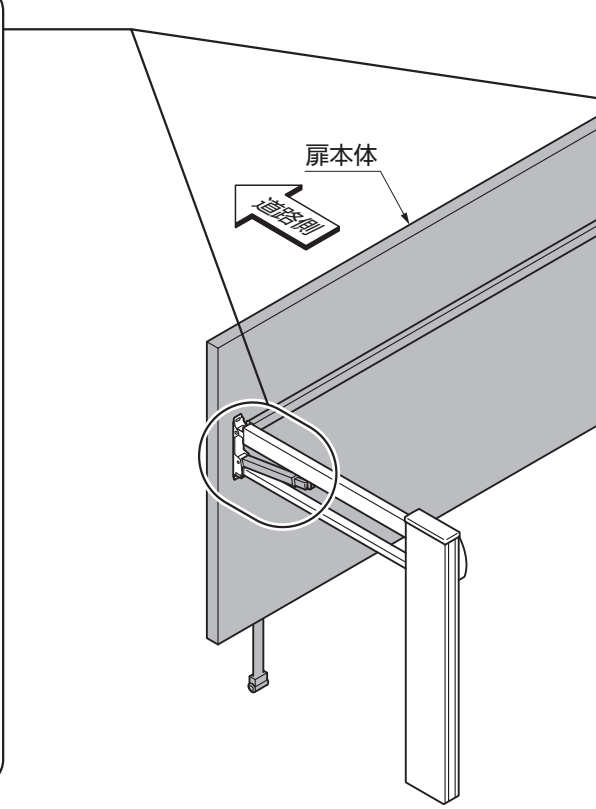
●標準の場合は、アームが水平になるように回転させてください。
●ハイルーフの場合は、ロックのかかるアームの角度が決まっています。角度を探りながら回転させてください。

⚠ 警 告

●扉を取付けるまで、ロックを解除しないでください。ロックを解除するとアームが跳ね上がり、ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

6. 補助スプリングユニットの取付け





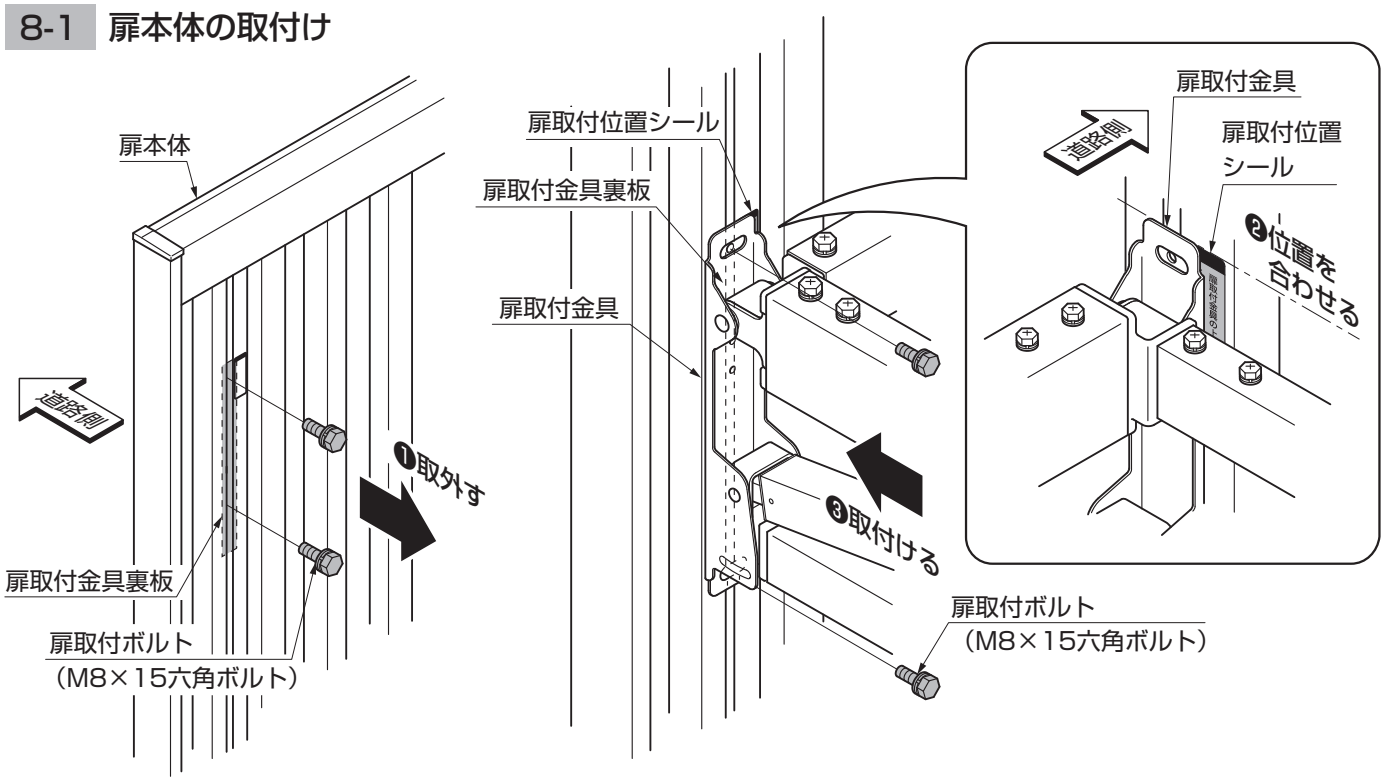
①補助スプリングユニットを補助スプリング取付金具に補助スプリングユニット取付ピン、【1-1】、【1-2】で取付けてください。

ポイント

- 【1-1】、【1-2】をスパナを用いて確実に締め込んでください。

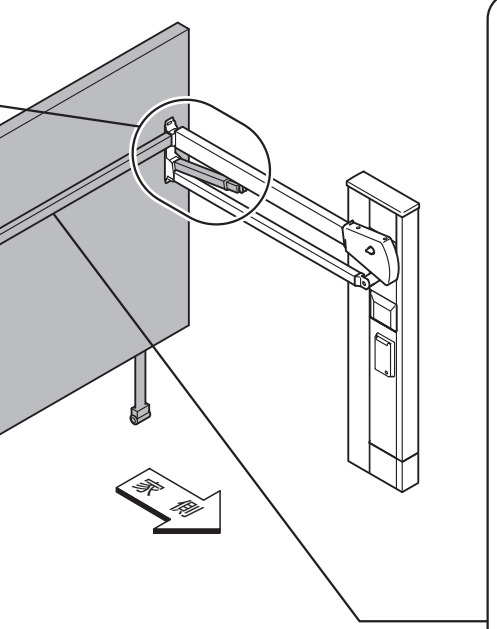
8. 扉本体の取付けと調整

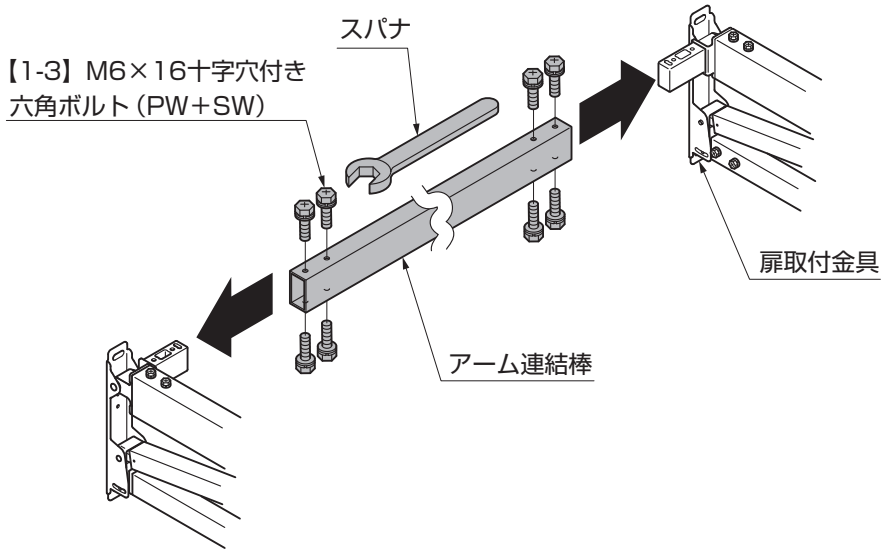
8-1 扉本体の取付け



①扉取付金具裏板に仮固定している扉取付ボルトを外してください。
②扉取付金具の上端を扉取付け位置シールの上端の線に合わせ、扉取付ボルトで取付けてください。

7. アーム連結棒の取付け





①左右のアームを横に押し広げ、アーム連結棒を扉取付金具に差込み、【1-3】で取付けてください。

⚠ 注 意

●【1-3】をスパナを用いて確実に締め込んでください。確実に締め込まないと、使用中にゆるみ、扉のねじれ、作動音や途中停止の原因になり、耐久性、安全性に影響します。

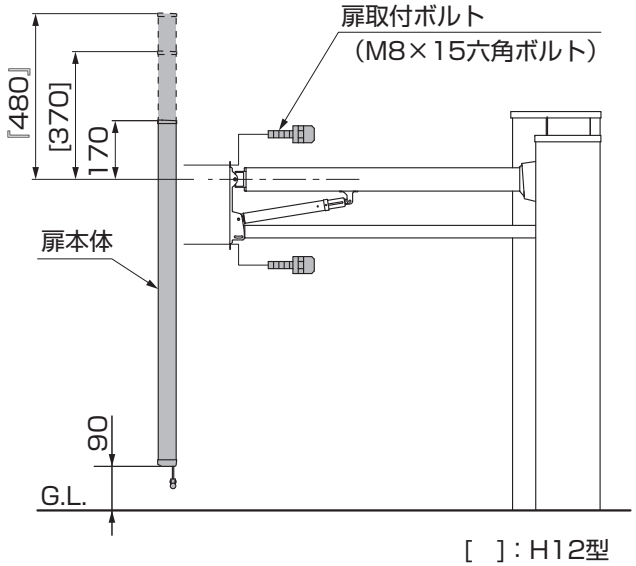


図8-1　標準の場合

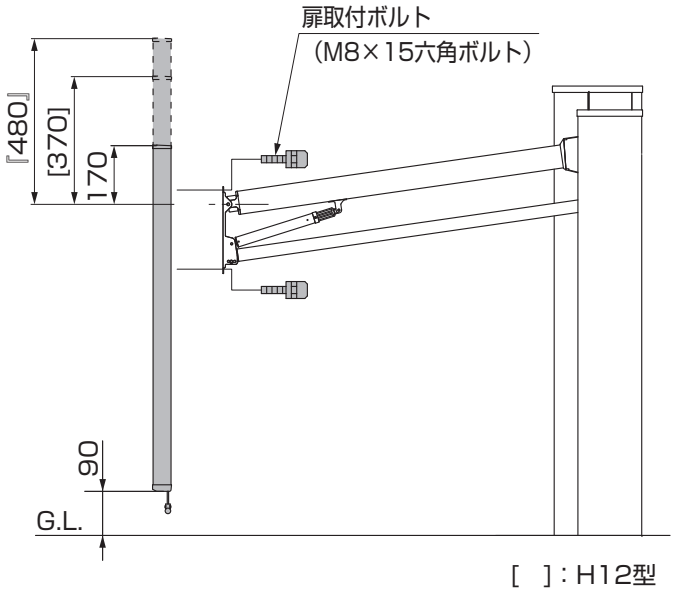


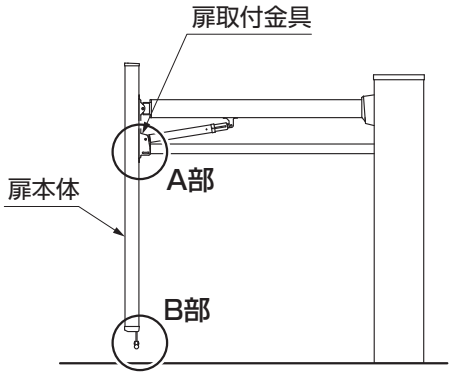
図8-2　ハイルーフの場合

⚠ 注 意

●取付け寸法を必ず確認してください。扉本体とアームの取付け位置がずれているとバランスがくずれ、扉の開閉が途中で停止したり、耐久性・安全性に影響します。

8.（つづき）

8-2 扉本体の垂直調整と接地ストッパーの仮止め



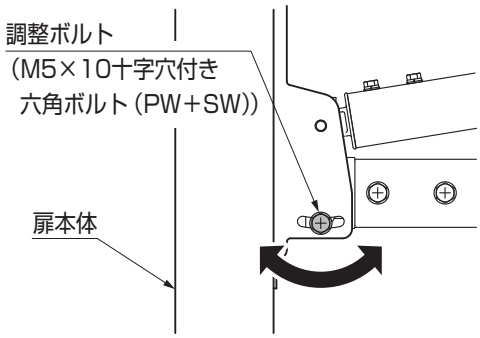


図8-3　A部詳細図

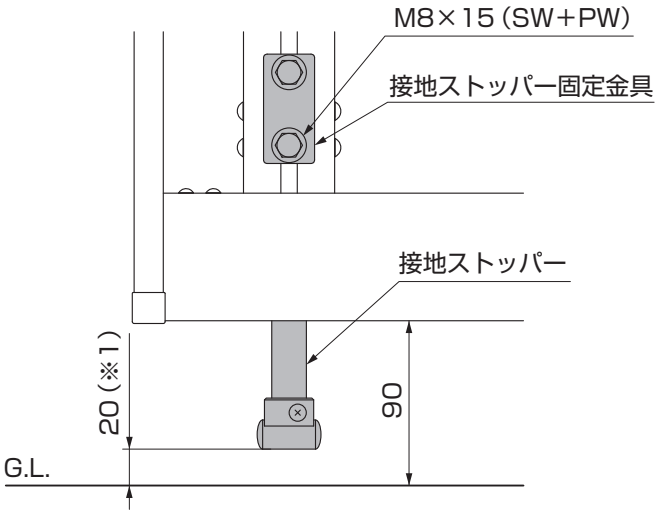
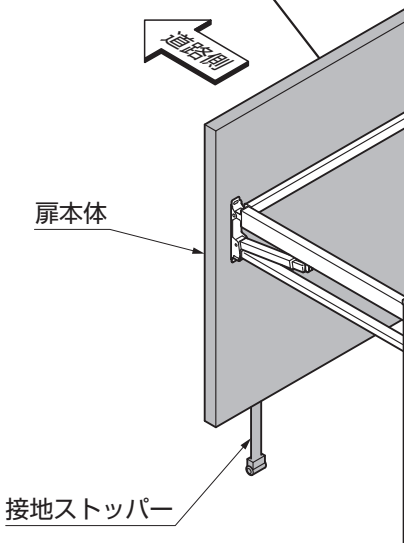


図8-4　B部詳細図

①扉本体が垂直になるように、扉取付金具の調整ボルトをゆるめて調整してください。(図8-3参照)
②接地ストッパーはG.L.から20mm浮かせた状態で仮止めをしてください。(図8-4参照)

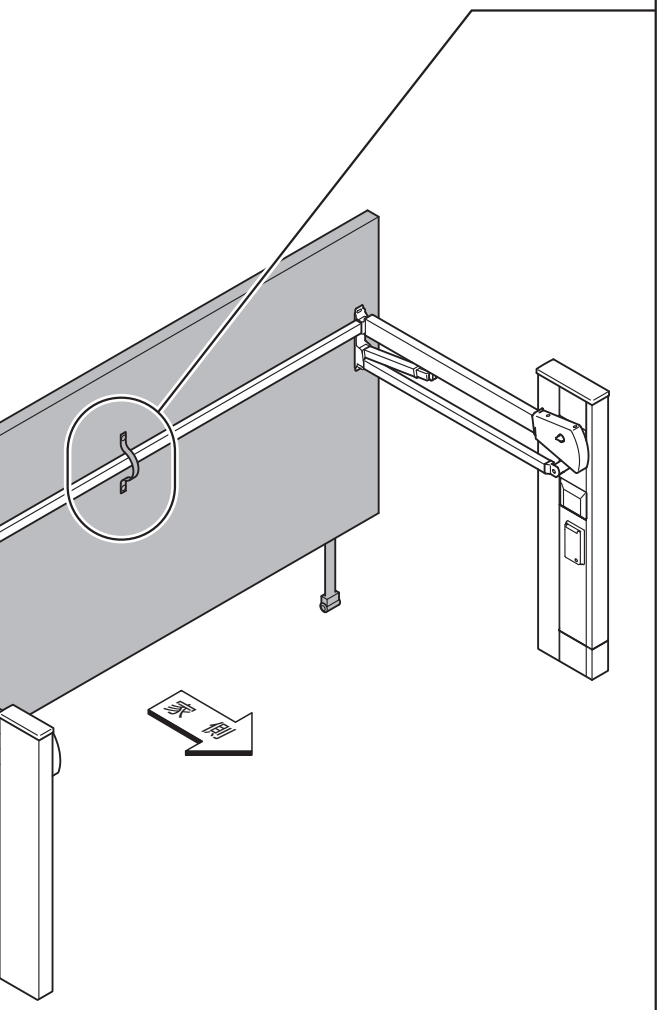
補 足

●接地ストッパーは、後工程で最終位置決めをします。

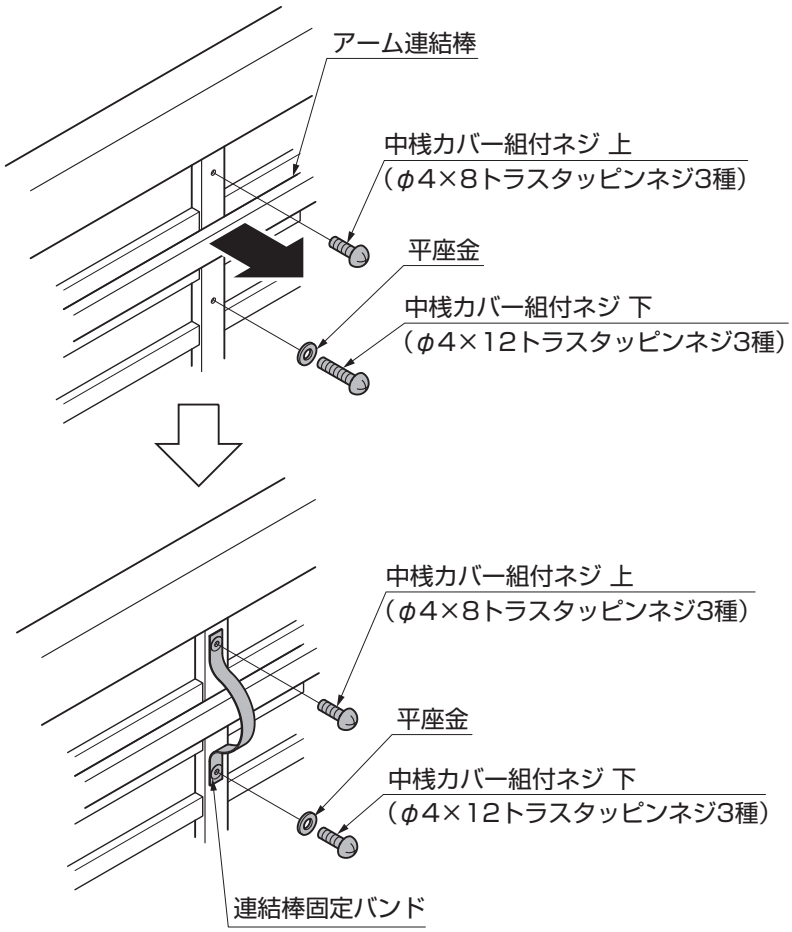


9. 連結棒固定バンドの取付け

※ワイドオーバードア W39以上の場合のみの作業です。

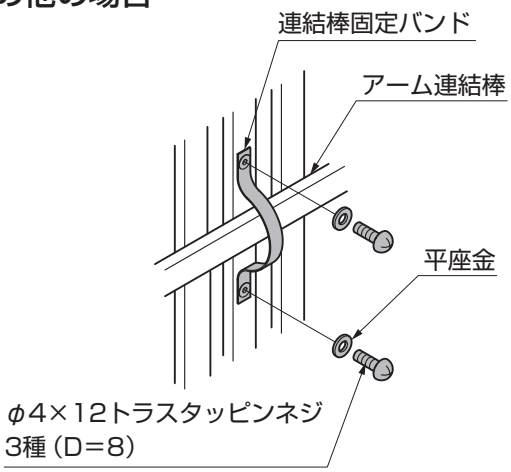


9-1 1型・3型・5型・6型・7型・8型のH10の場合



①中桟上部と下の中桟カバー組付ネジ、平座金を取外してください。
②連結棒固定バンドを中桟に取外したネジ、平座金で取付けてください。

9-2 その他の場合



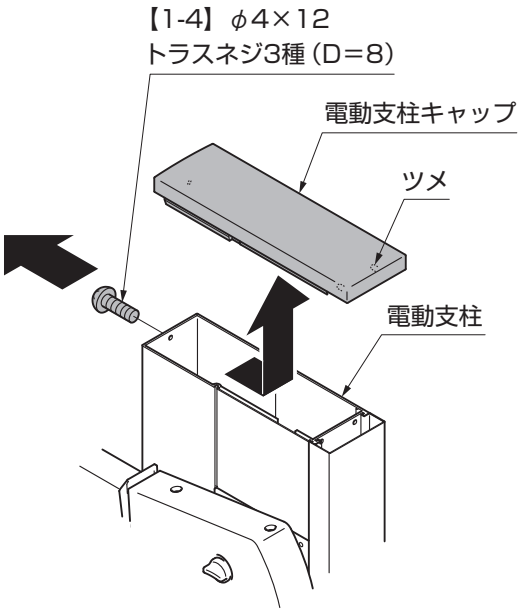
①縦桟に仮固定しているネジ、平座金を取外してください。
②連結棒固定バンドを縦桟に取外したネジ、平座金で取付けてください。

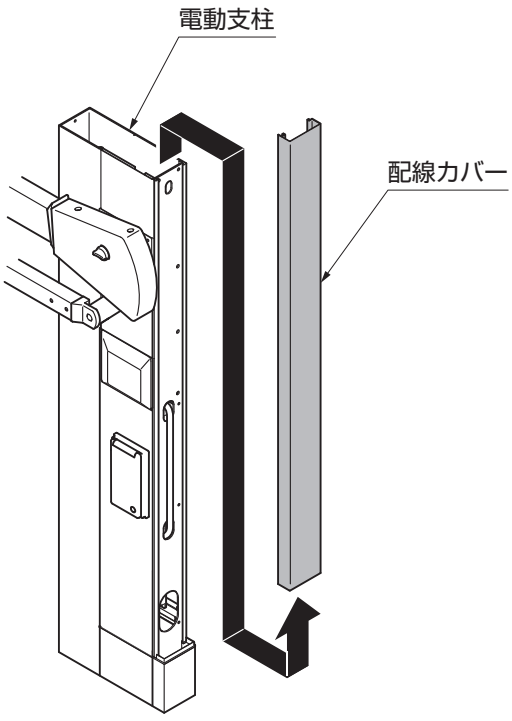
D515_201101A

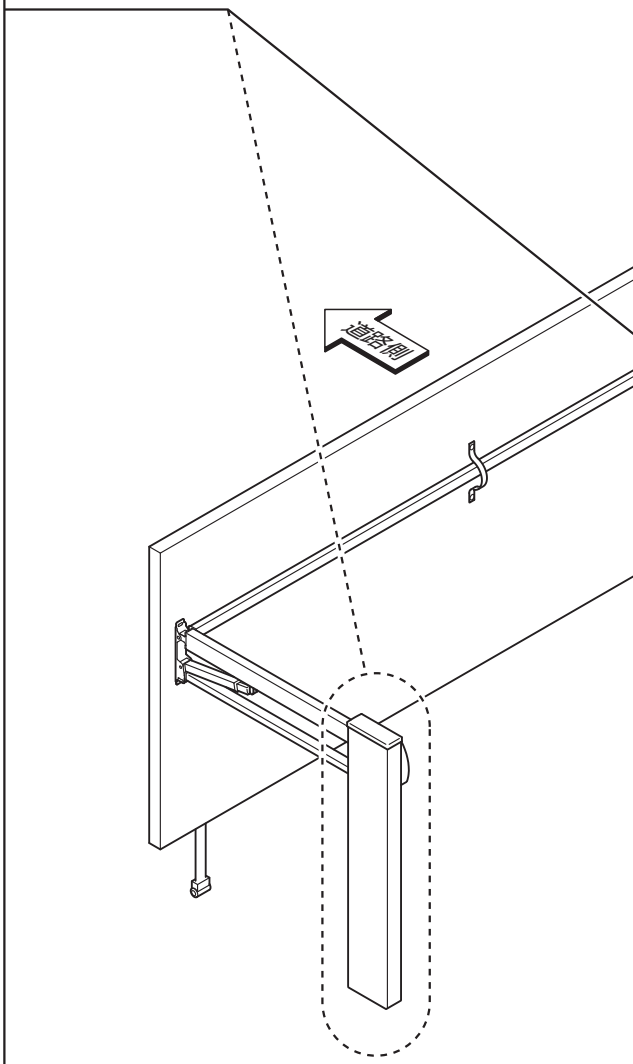
10. 電源の接続

10-1 接続の前に

※ワイドオーバードアS 2モータの場合は、
電動支柱（主柱）・（サブ柱）の両方に行なってください。



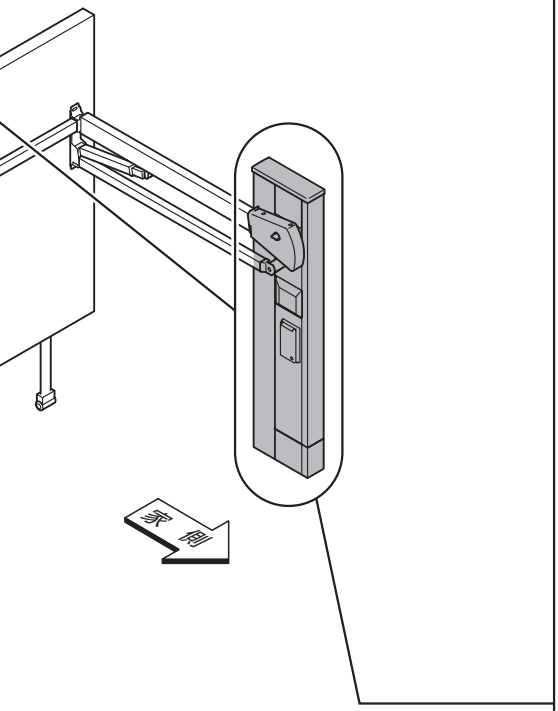




①電動支柱キャップを電動支柱から取外してください。
②配線カバーを電動支柱からスライドして取外してください。

補 足

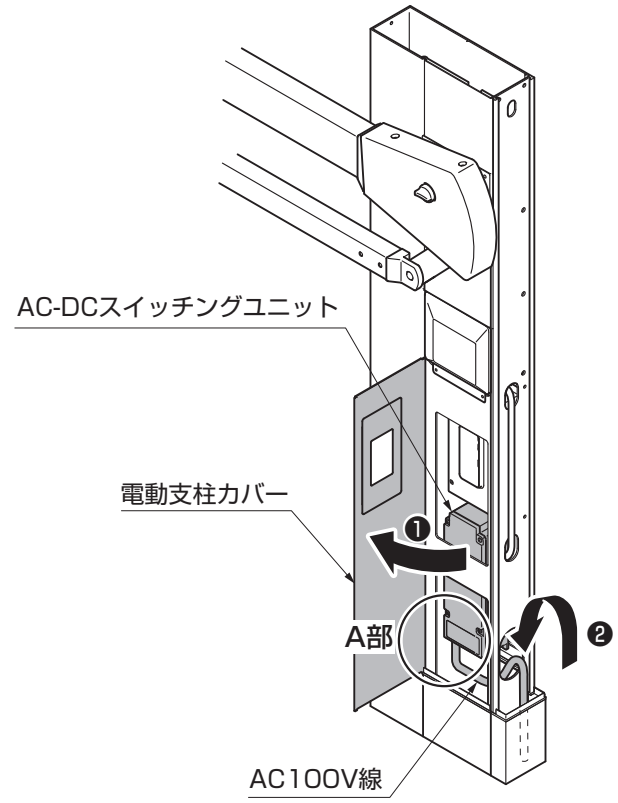
●取外した【1-4】は、後工程のリモコン受信器の接続後に取付けますので、無くさないように保管してください。



10-2　電源の接続

注 意

●AC100V線の施工に関しては、電気工事の有資格者に依頼してください。



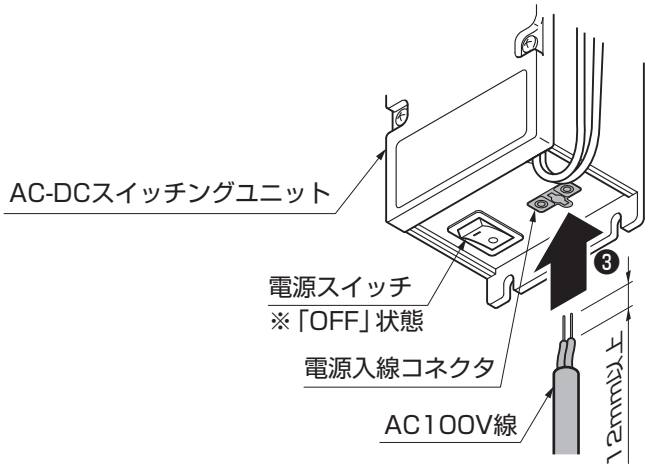


図10-1　A部詳細図

①電動支柱カバーを開いてください。
②AC100V線を電動支柱（主柱）内に通してください。
③AC100V線をAC-DCスイッチングユニットの電源入線コネクタの奥まで差込んでください。（胴単芯部は12mm以上必要です。）

補 足

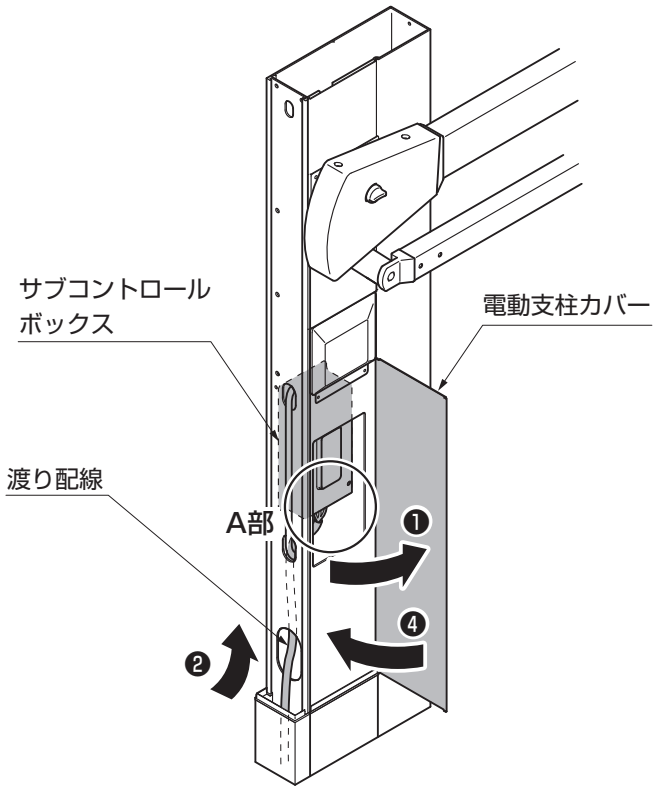
●配線の接続が終るまでは、電源スイッチを「OFF」にしておいてください。

11. 渡り配線の接続

※ワイドオーバードアS 2モータの場合の作業です。

11-1 電動支柱（サブ柱）側の接続

※電動支柱（サブ柱）は外観右側になります。



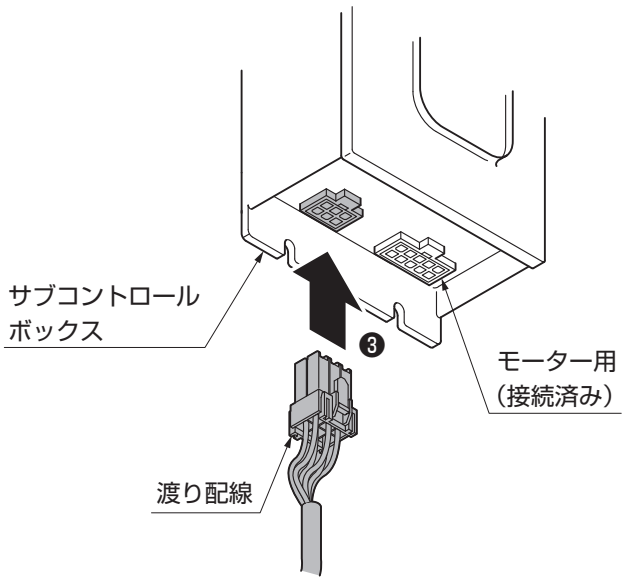
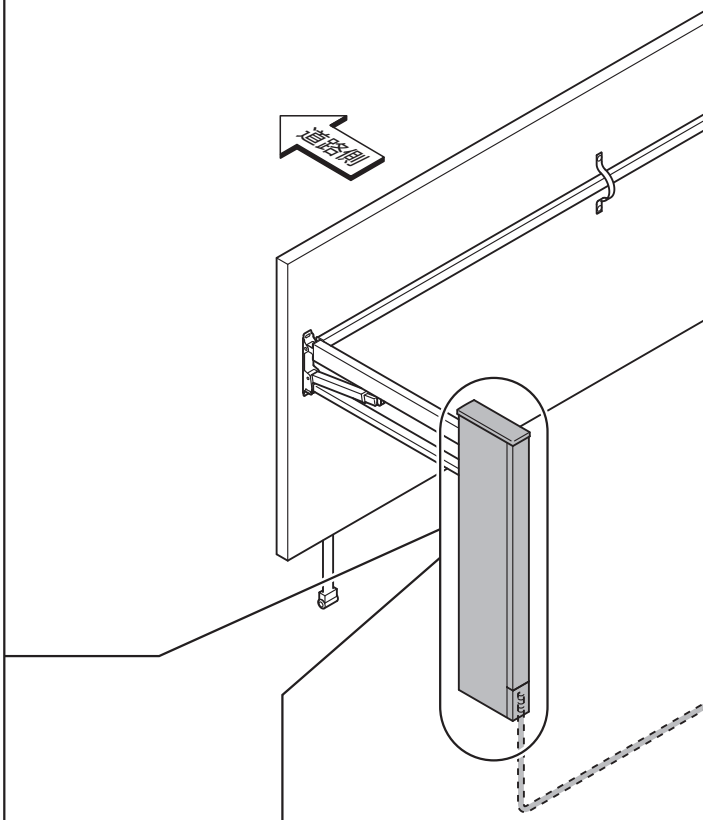
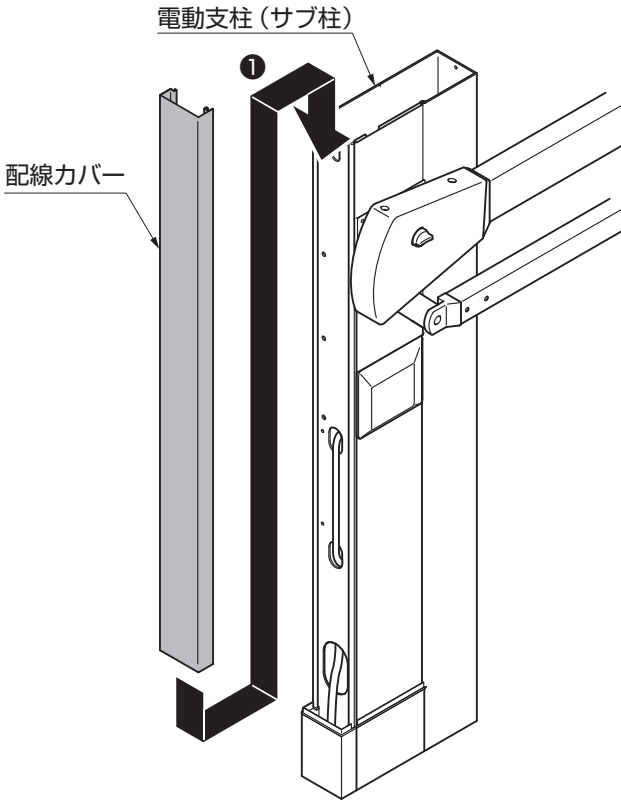


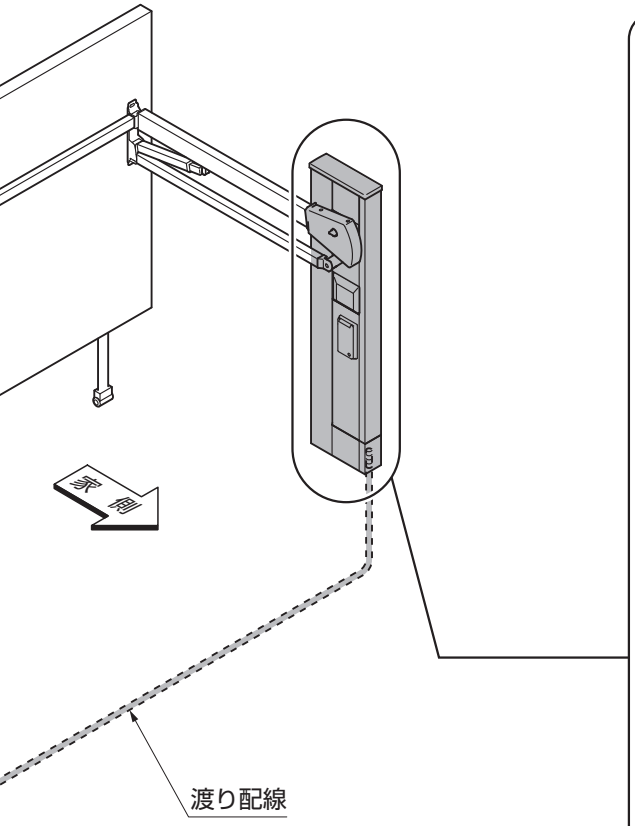
図11-1　A部詳細図

①電動支柱（サブ柱）の電動支柱カバーを開いてください。
②渡り配線を電動支柱（サブ柱）内に通してください。
③渡り配線をサブコントロールボックスに接続してください。
④電動支柱カバーを閉じてください。

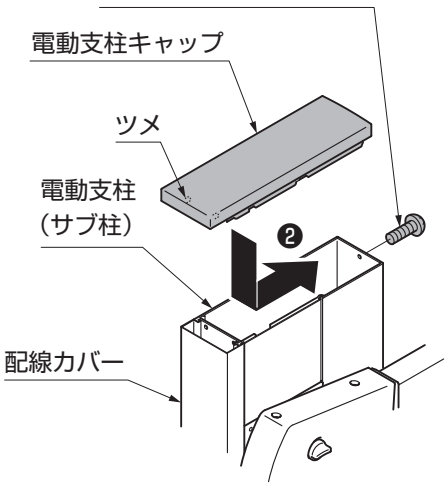


11-2 接続の後に



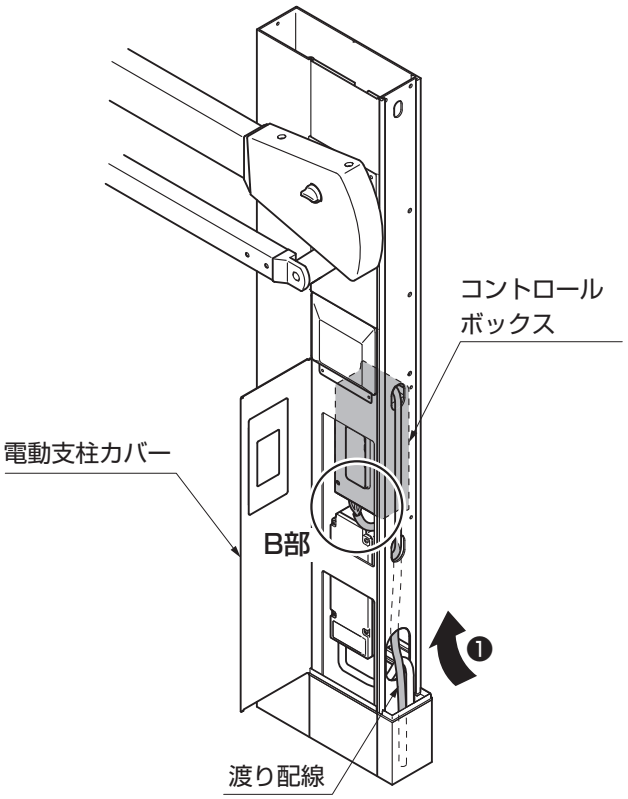


【1-4】φ4×12トラス
タッピンネジ3種（D=8）



①配線カバーを電動支柱に取付けてください。
②電動支柱キャップをスライドさせて電動支柱にツメを引っ掛け、【1-4】で取付けてください。

11-3　電動支柱（主柱）側の接続



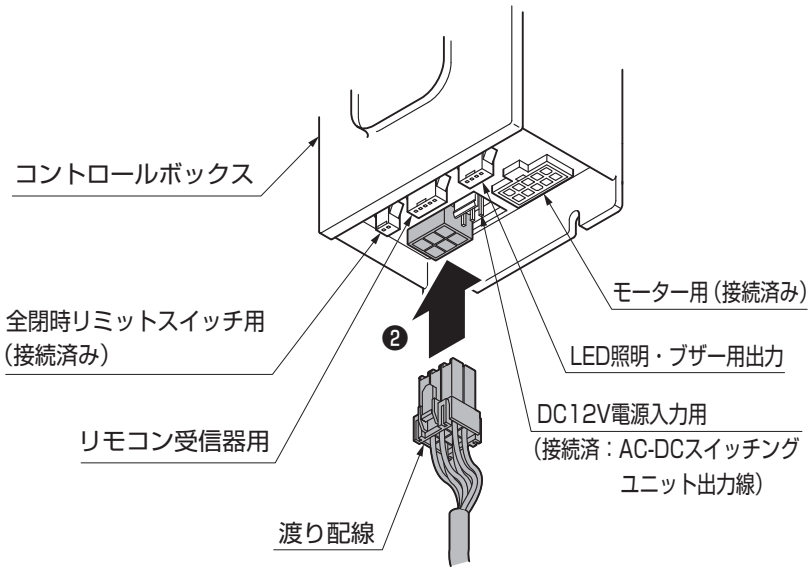


図11-2　B部詳細図

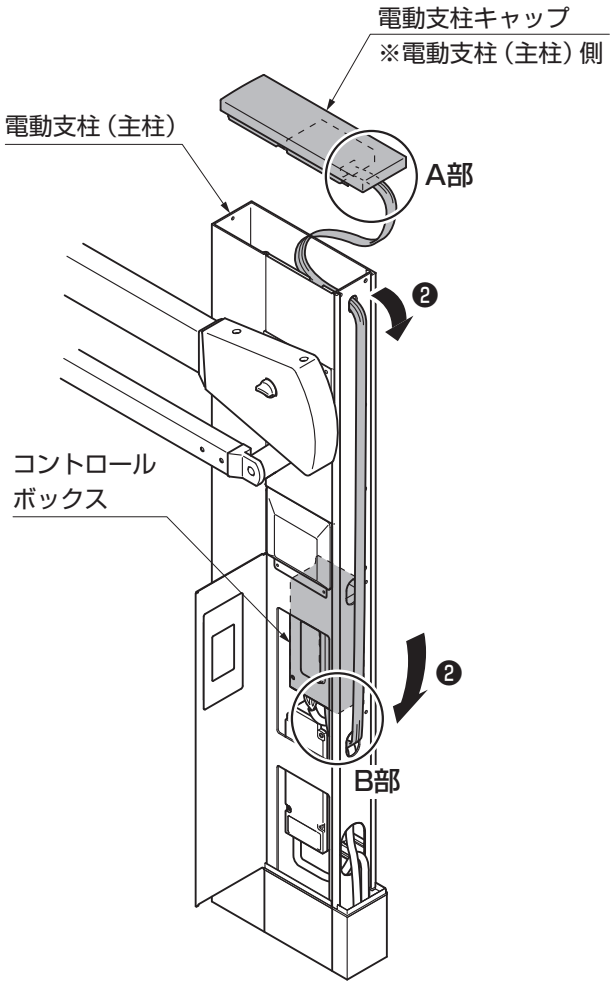
①渡り配線を電動支柱（主柱）内に通してください。
②渡り配線をコントロールボックスに接続してください。

補足

●渡り配線を接続する際に、コントロールボックスの前面に接続されているリミットスイッチ用のコネクタを一度外してから取付けてください。取外したコネクタは接続後、再度、確実に接続してください。

12. リモコン受信器の接続　※電動支柱（主柱）側のみの作業です。

12-1　リモコン受信器の接続



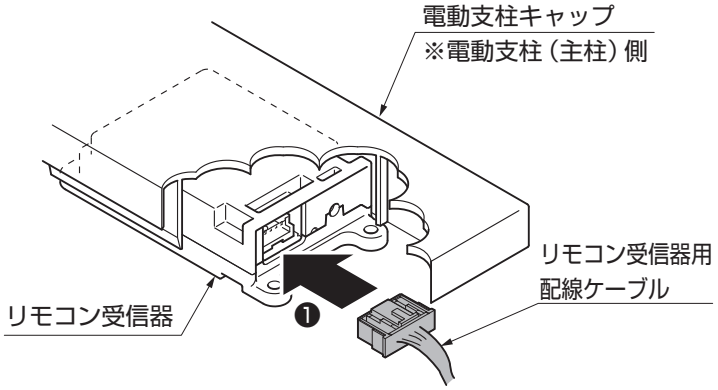


図12-1　A部詳細図

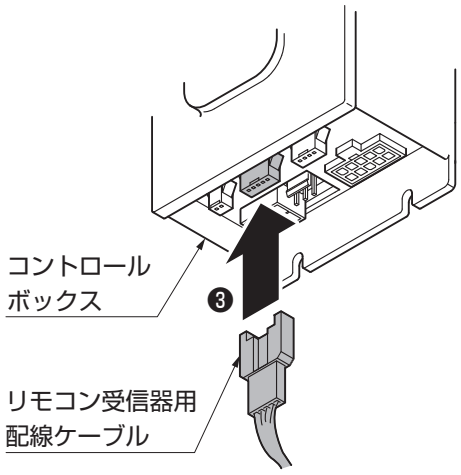
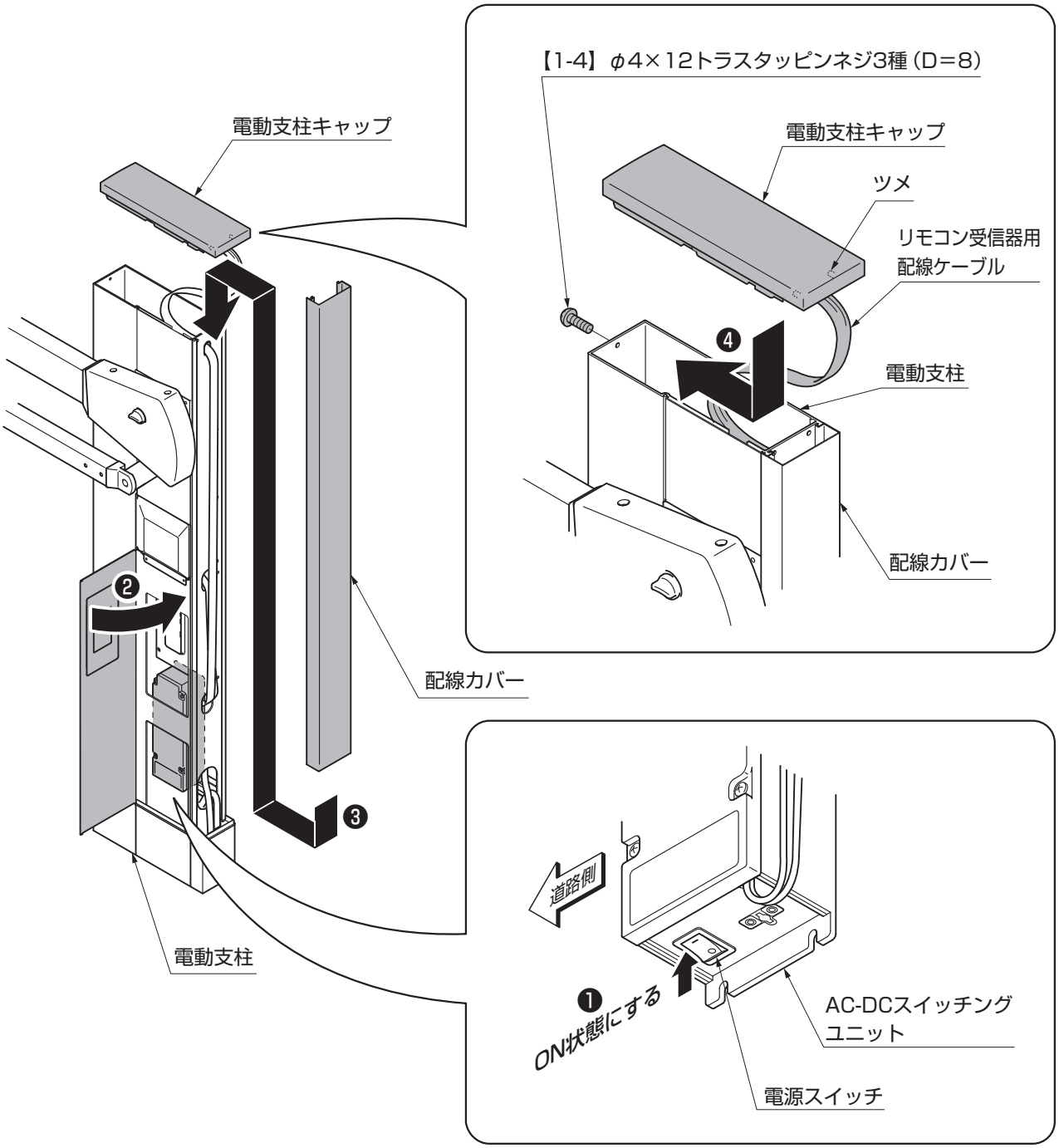


図12-2　B部詳細図

①リモコン受信器用配線ケーブルをリモコン受信器に接続してください。
②リモコン受信器用配線ケーブルを電動支柱（主柱）内に通してください。
③リモコン受信器用配線ケーブルをコントロールボックスに接続してください。

D515_201101A

12-2 接続の後に



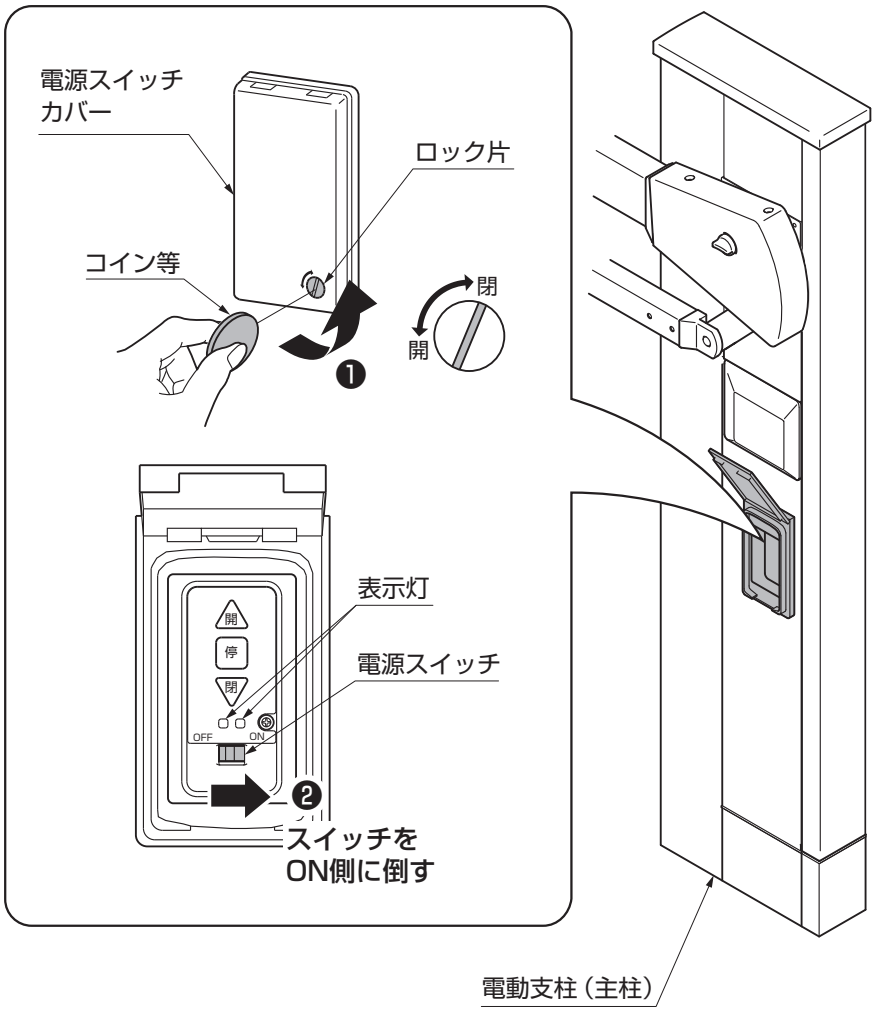
①AC-DCスイッチングユニットの電源を「ON」にしてください。
②電動支柱カバーを閉じてください。
③配線カバーを電動支柱に取付けてください。
④電動支柱キャップをスライドさせて電動支柱にツメを引っ掛け、【1-4】で取付けてください。

⚠注 意

●配線カバーの取付けおよび電動支柱キャップの取付けの際に、リモコン受信器用配線ケーブルをはさまないように注意してください。また電動支柱（主柱）内に納める際に、駆動部品に絡まないように注意してください。断線やショートにより作動不良や途中停止の原因になり、耐久性、安全性に影響します。

13. 使用方法

13-1 電源の入れ方



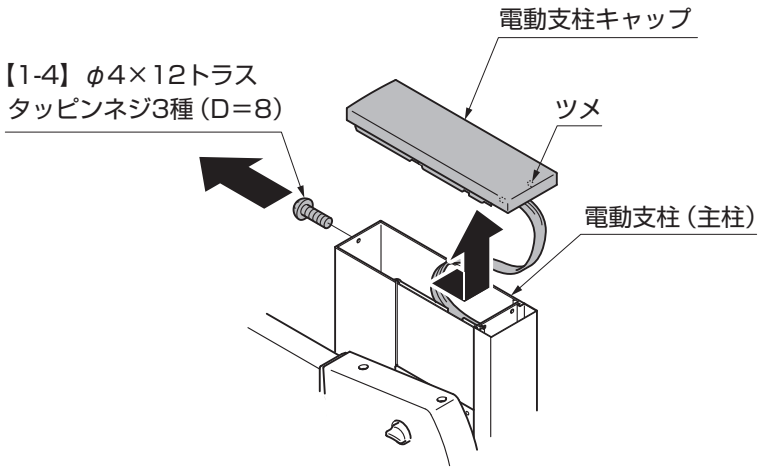
①電源スイッチカバーを開いてください。
②コントロールボックスの電源を「ON」にしてください。

補足

●電源スイッチを「ON」後、電源スイッチの上にあるON、OFFの表示灯が点滅し「OFF」が点灯します。しばらくたつと消灯します。表示灯が点灯しない場合はAC-DCスイッチングユニットの電源が「ON」になっているか確認してください。
（「12.　リモコン受信器の接続 12-2 接続の後に」参照）

13-2 リモコン送信器の登録・登録取消し

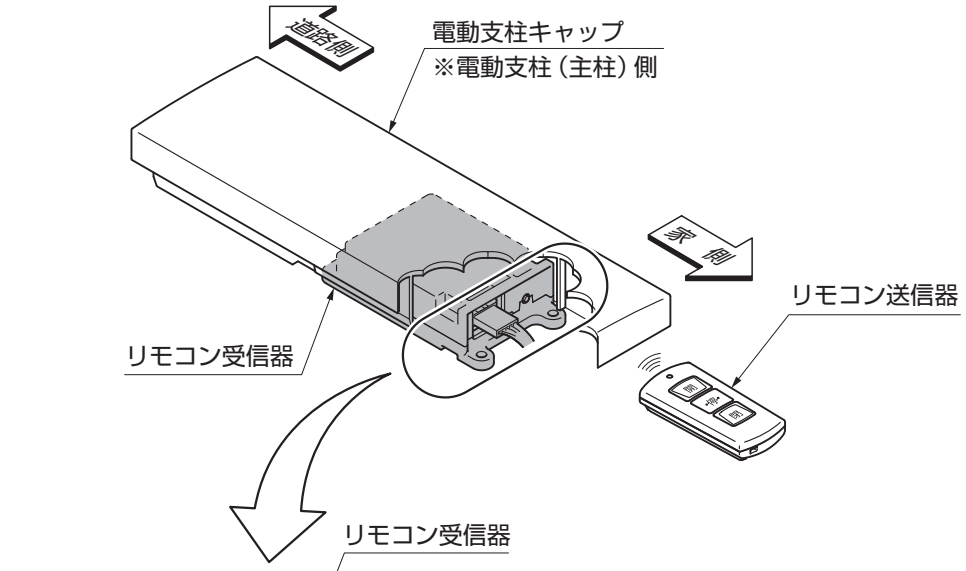
（1）登録・登録取消しの前に

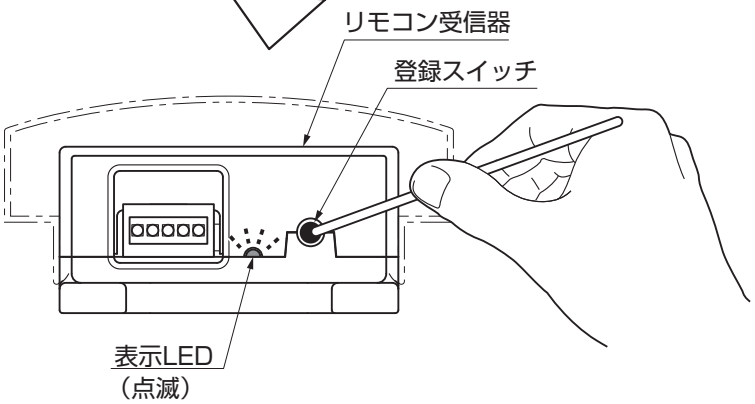


①【1-4】を取外し、電動支柱キャップを電動支柱（主柱）からスライドさせて取外してください。

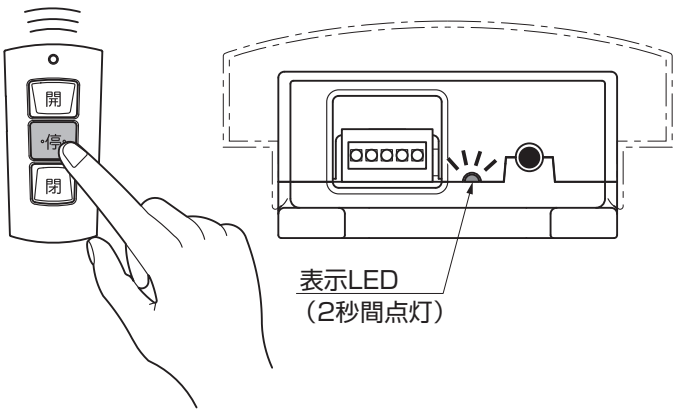
D515_201101A

（2）登録　※追加登録する場合も同様の方法になります。





①リモコン受信器の登録スイッチをペン先やつまようじなどで押し、登録モードにします。表示LEDが点滅します。

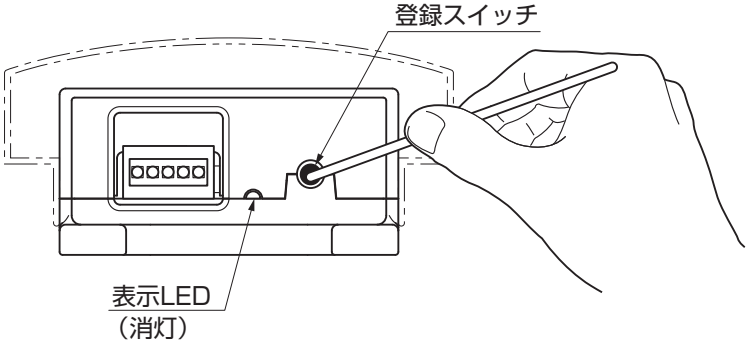


②登録するリモコン送信器の「停」ボタンを押します。表示LEDが2秒間点灯し、リモコン送信器の登録が完了します。

補足

●2台以上登録する場合は、表示LEDが点滅している間に②の作業を繰り返してください。

③リモコン受信器の登録スイッチをペン先やつまようじなどで押し、登録モードを終了します。表示LEDが消灯します。

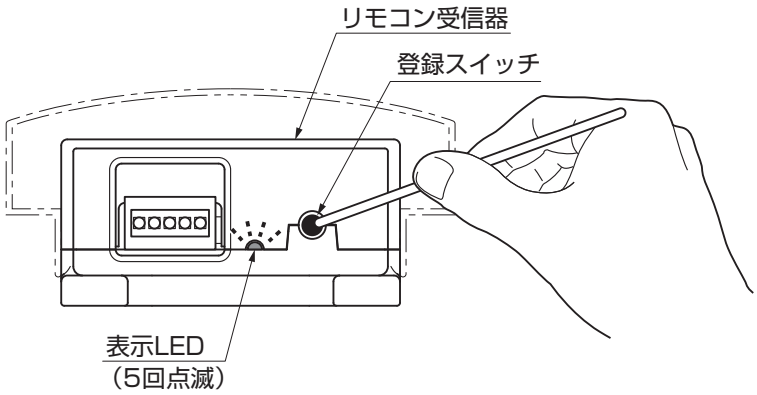


補足

●リモコン送信器の登録が完了後、１分間そのままにしておくと、自動で登録モードが終了します。
●リモコン送信器は16台まで登録可能です。16台以上登録すると、最初に登録したリモコン送信器の登録が消えます。

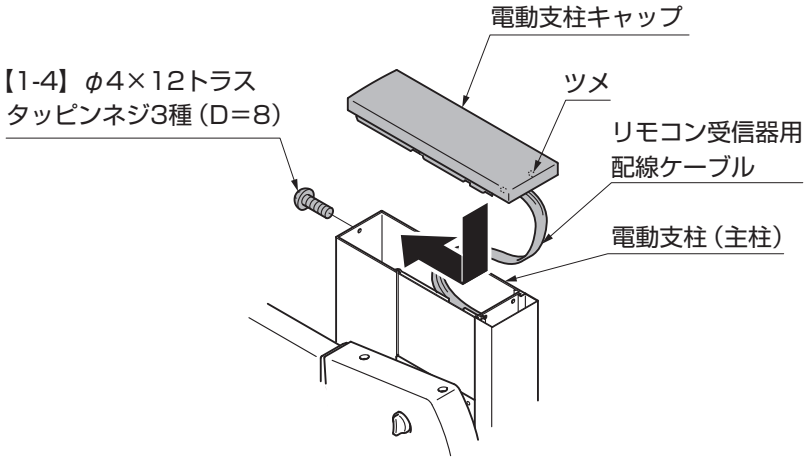
13.（つづき）

（3）登録取消し　※登録されているすべてのリモコン送信器が消去されます。



①登録スイッチを5秒以上長く押します。
表示LEDが5回点滅します。

（4）登録・登録取消し終了の後に

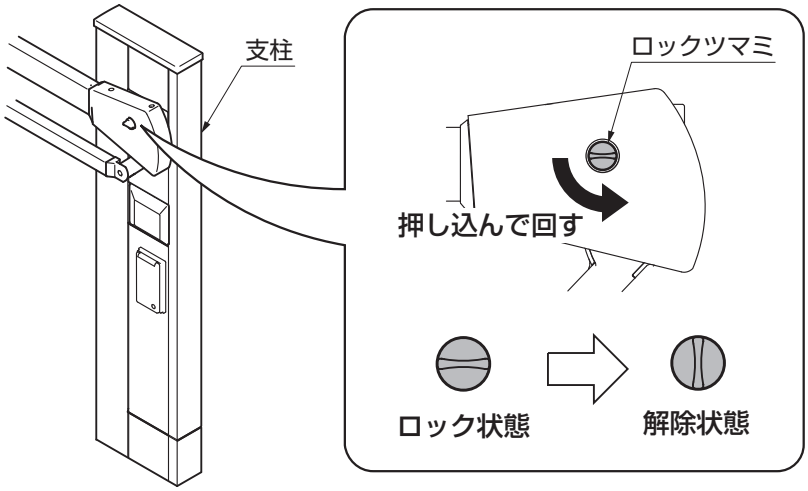


①電動支柱キャップをスライドさせ、電動支柱（主柱）に【1-4】で取付けてください。

⚠ 注 意

●電動支柱キャップの取付けの際に、リモコン受信器用配線ケーブルをはさまないように注意してください。また電動支柱（主柱）内に納める際に、駆動部品に絡まないように注意してください。断線やショートにより作動不良や途中停止の原因になり、耐久性、安全性に影響します。

14. ロック解除　※開閉操作を行なう前に必ず行なってください。



①ロックツマミを押込んで、ロックツマミが垂直な状態になるまで回してください。

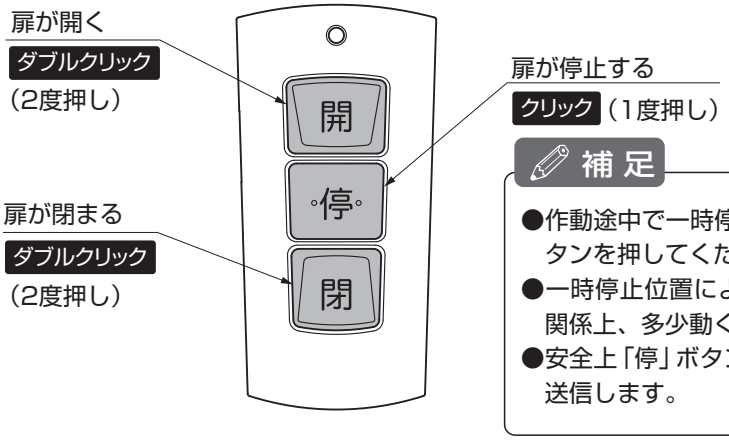
ポイント

●扉を開閉する時は、必ずロックを解除してください。
ロック状態のまま扉を開閉すると、駆動部が破損するおそれがあります。

D515_201101A

15. 操作方法

15-1 リモコン送信器による操作方法



補足

●作動途中で一時停止させるときは「停」ボタンを押してください。
●一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。
●安全上「停」ボタンに限り１回押すだけで送信します。

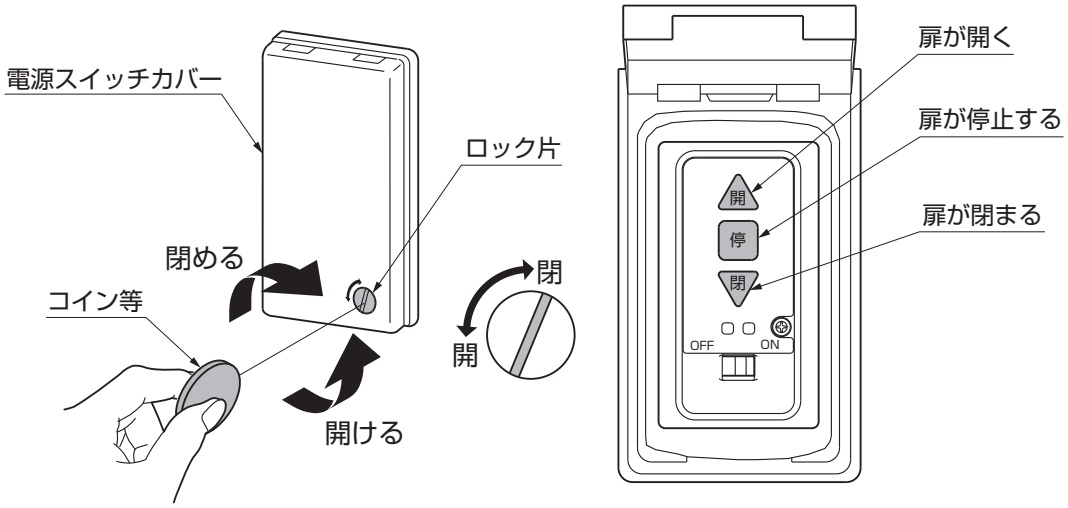
補足

●リモコン送信器の到達可能距離（目安）は約10メートル以内です。
●「開」または「閉」ボタンのダブルクリック（2度押し）間隔が２秒を超えると送信されません。
●「開」・「閉」作動中に逆方向の操作をするときは、必ず一度「停」ボタンを押してください。

15-2 押ボタンスイッチによる操作方法

補足

●押ボタンスイッチは、施工時・非常時やリモコン送信器の電池切れ時などに使用してください。通常はリモコン送信器での操作を推奨します。



注意

●不用意な操作による事故を防ぐために、操作時以外はロック片を「閉」の状態にしてください。

補足

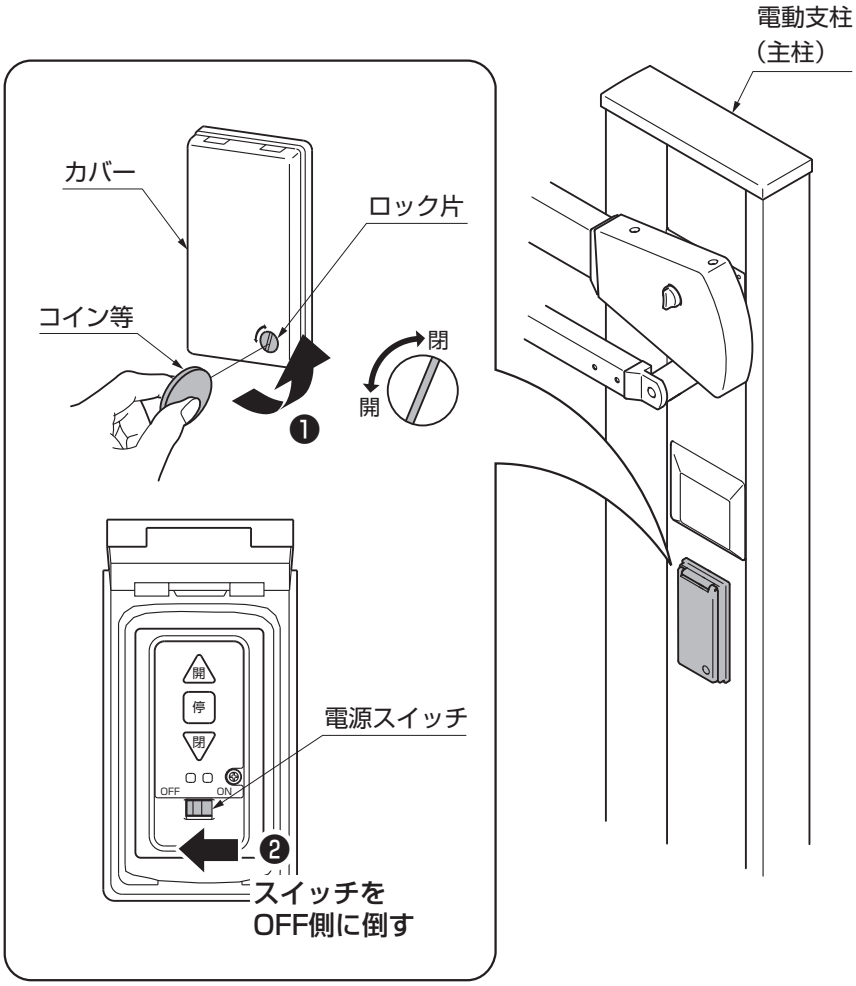
●作動途中で停止させるときは、「停」ボタンを押してください。
●「開」・「開」作動中に、それぞれの逆方向に操作する場合は、必ず一度「停」ボタンを押してください。

15.（つづき）

15-3 電動で動かせないときの操作方法

※非常時（停電・故障）など電動で動かせないときは、電源スイッチを「OFF」にすることにより手動で動かすことができます。

（1）電源の切り方

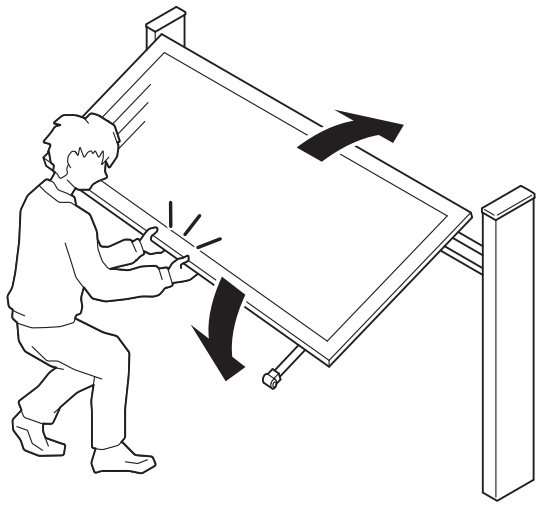


①押ボタンスイッチのカバーを開け、電源スイッチをOFFにしてください。

ポイント

●コントロールボックスの電源が「ON」のときは、モータによるロック（25～30kg）がかかっています。
手動で扉を開閉する場合は、必ず電源を「OFF」にしてください。
「ON」のまま開閉すると、駆動部の破損の原因になります。

（2）扉の開け方、閉め方



②扉の中心部を手で持ちゆっくりと開閉します。

補足

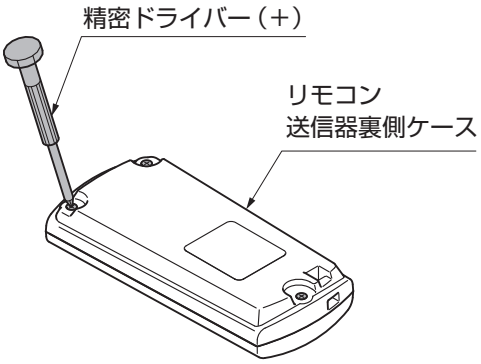
●オーバードアS、ワイドオーバードアS1モーターの手動開閉には、約7kgの力が必要です。
オーバードアS2モーターの手動開閉には、約15kgの力が必要です。

D515_201101A

16. リモコン送信器の電池交換

補 足

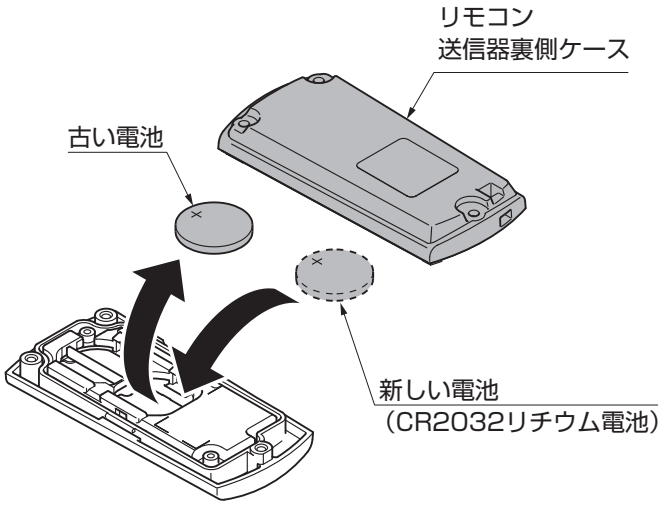
●リモコン送信器による操作距離が短くなったり、作動表示灯が点灯しなくなった場合は、速やかに新しい「リチウム電池CR2032」に交換してください。
●電池寿命は、1日10回（「開」・「閉」・「停止」いずれか1操作／回）の使用で約5年です。



①取付けネジを取外してください。

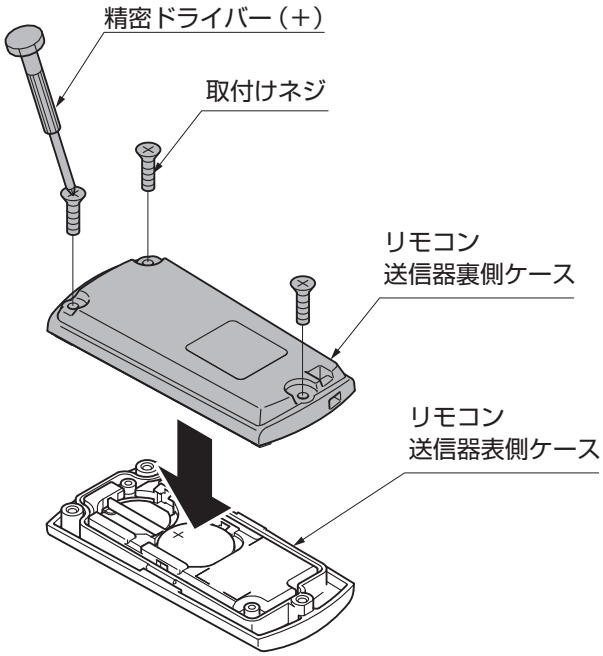
補 足

●取外したネジは紛失しないように注意してください。



②裏側ケース、古い電池を取外してください。

③新しい電池をはめ込んでください。



④裏側ケースを表側ケースに取付けねじで取付けてください。

補 足

●電池の極性「+」・「−」を確認を上、正しくセットしてください。また、水分やほこり等が入らないようにしてください。

D515_201101A

17. 安全装置について

ポイント

●扉が作動中に人や車、障害物に衝突したときに、大事故を防ぐために安全装置を設定しています。
開閉作動中に安全装置が作動した場合、閉側は、約１秒間後退し停止します。開側は、その場で停止します。
安全装置が働く力は、7～8kgです。なお、ワイドオーバードアR 2モータの場合13～14kgです。

18. 作動確認

18-1 手動による作動確認

確　認	処　置
開閉が著しく重く ありませんか	・コントロールボックスの電源が「OFF」になっているか確認してください。 （15-3 電動で動かせないときの操作方法 ） ・ロックツマミが解除されているか確認してください。（14. ロック解除）

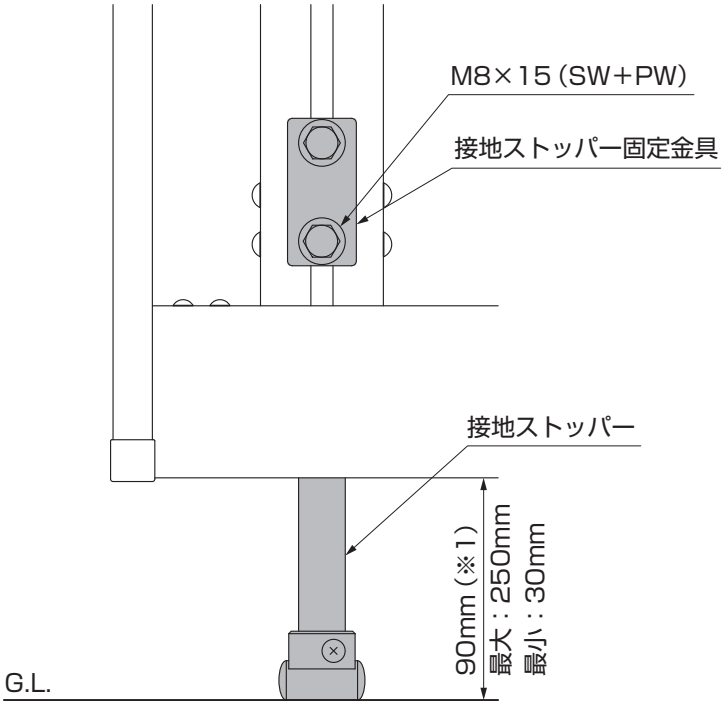
18-2 電動による作動確認

確　認	異　常	処　置
リモコンおよび 押ボタンスイッチの 「開」「閉」「停」は それぞれ正常に 作動しますか ※10m以内で1台の リモコン送信器から 発信してください。	リモコンで作動しない	・リモコン送信器の操作方法を確認してください。 （15-1 リモコン送信器による操作方法 ） ・リモコン送信器登録の確認をしてください。 （13-2 リモコン送信器の登録・登録取消し ） ・リモコン受信器の接続の確認をしてください。 （12-1 リモコン受信器の接続 ）
	押ボタンスイッチで作動しない	・押ボタンスイッチの操作方法の確認をしてください。（15-2 押ボタンスイッチによる操作方法）
全閉・開するときに、 安全装置が働いて いないですか	全閉・開するときに、作動が 途中で停止する	・補助スプリング取付金具の取付け位置を確認してください。（ 5-1 アームの組立て） ・扉取付け位置の確認をしてください。 （8. 扉本体の取付けと調整） ・扉の開閉領域に障害物がないか確認してください。 ・全閉前に接地ストッパーが接地していないか確認してください。 （ 8-2 扉本体の垂直調整と接地ストッパーの仮止め ）
作動速度	スロー作動になる	扉を一度、全閉状態にしてください。

補 足

●本製品は、インバータモータにより通常はスロースタート・スローストップします。ただし扉が全閉以外の場所で電源をOFFにし、その後電源をONにすると扉の作動は、スロー作動のままになります。スロー作動になった場合、必ず一度全閉状態にしてください。一度全閉状態にすると通常の作動にもどります。

19. 接地ストッパーの最終位置決め　※1 正規寸法で施工した場合、約90mmになります。



①扉を電動で数回開閉してください。
②全閉の状態で接地ストッパーを伸ばしG.L.に軽く当たるように調節してください。

補 足

●全閉位置は、あらかじめ電装部内で決まっています。

注 意

●全閉位置に到達前に接地ストッパーがG.L.に当たると、安全装置が働き少し開いて停止します。当たらないように調節してください。接地ストッパーを伸ばしすぎたり、引き込みすぎると駆動部が破壊されたり、耐久性能が低下するおそれがあります。

20. 仕様

項　目	仕　様
入力電圧	AC100V（50／60Hz）
消費電力（作動時）	8.4W　0.08A（1モータ）、16.8W　0.17A（2モータ）
モータ定格出力	10W
周囲温度	−10℃〜50℃
開閉時間	約16秒
操作方法	リモコン、（押ボタンスイッチ（※））
リモコン到達距離（見通し距離）	約10m

※施工時や非常時、リモコン電池切れの際に、コントロールの押ボタンスイッチで操作が可能です。

ポイント

●リモコン到達距離は、周囲の環境や電波障害などにより、短くなることがあります。

株式会社 LIXIL

取説コード
D515

JZZ621761A
201101A_1039
201108B_1039